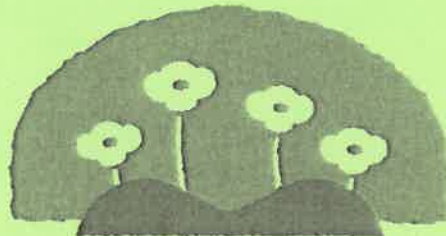


事業概要

令和 3 年度



Kyoto Botanical Gardens

京都府立植物園

目 次

1	設 置	1
	(1) 開設者 (2) 根 拠 (3) 開設年月日	
	(4) 目 的 (5) 所在地 (6) 運営形態	
2	沿 革	2
3	組 織	7
	(1) 組 織 (2) 職員配置	
4	施設概要	8
	(1) 京都府立植物園概要図 (2) 施設等一覧 (3) 特記施設等	
	ア 植物園会館 イ 観覧温室 ウ 切符売場・守衛所	
	エ 北山門管理棟 オ 賀茂川門管理棟 カ 北泉門管理棟 キ 大森文庫	
	(4) 保有植物	
5	運 営	16
	(1) 開 園 日 (2) 開園時間 (3) 温室観室時間	
	(4) 駐車場利用時間 (5) 使用料 (6) 使用料の減免	
6	令和2年度運営実績	19
	(1) 利用状況	
	ア 入園者数及び温室入室者数 イ 駐車場利用自動車数	
	ウ 月、季節別入園者割合 エ 月別入園者数の推移	
	(2) 主な栽培品種	
	(3) 事 業	
	ア 行事一覧 イ 四季の彩り事業 ウ 教育・学習活動等	
	エ 植物園芸相談 オ 種子交換 カ 広報活動 キ ボランティア活動状況	
	ク 「きのこ文庫」(こども文庫“きのこの家”)の運営	
	ケ 京都府立植物園ファンクラブの運営	
7	令和2年度歳入歳出決算(過去5年間)及び令和3年度当初予算	42
8	運営協力	44
9	資 料	45
	(1) 年度別入園者数、観覧温室入室者数の推移 (2) 入園料の変遷	
	(3) 園内四季の花 (4) 都道府県の花 (5) 都道府県の木	
	(6) 府内市町村の木・花 (7) 歴代園長	
10	植物に関する記録	51

1 設 置

(1) 開 設 者

京 都 府

(2) 根 拠

京都府立植物園条例（昭和 35 年 12 月 24 日京都府条例第 33 号）

(3) 開設年月日

大正 13 年 1 月 1 日

(4) 目 的

植物を育成栽培し広く府民のいこいの場としてこれを公開し、植物の観賞を通じて一般の教養に資するとともに、植物学の研究に寄与する。（京都府立植物園条例）

(5) 所 在 地

京都市左京区下鴨半木町

(6) 運 営 形 態

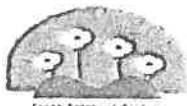
京都府直営

2 沿 革

大正 2 年 (1913年) 4 月	京都府 (大森知事) は、洛北上下両加茂にまたがる 約335,000㎡ の敷地を大典記念京都博覧会会場予定地として取得したが、諸情勢により博覧会を断念 新たに植物園の創設を企画する
大正 4 年 (1915年) 4 月 10 月	三井家同族会から25万円の寄付を受ける 府会が植物園建設を議決する
大正 6 年 (1917年) 4 月 9 日	明治神宮造営局技手 寺崎良策氏に設計管理を囑託、建設に着手する
大正 12 年 (1923年) 11 月 10 月	大正天皇御大典記念日に竣工、大典記念京都植物園として開園する
大正 13 年 (1924年) 1 月 1 日	有料開園となる ・ 設立の主旨 「普通教育を基本とし、大自然に接して英気を養い園内遊覧のうちに草木の名称、用途、食用植物、熱帯植物、有毒植物、特用植物 (染料、工芸植物)、薬用植物及び、園芸植物等の知識と天然の摂理一般を普及させ、加えて我が国植物学界各分野の学術研究に資することを目的とする。」 ・ 当時の主な施設 大正記念館 (大正大典朝集場を移転建造)、温室、詰所、貴賓休憩所、大森記念文庫、四阿、便所、切符売場など 花壇 (草本見本園、牡丹芍薬花壇、菊花壇、毛せん花壇、1・2年生草花リボン花壇、ダリア花壇等)、分科花壇、薬草見本園、高山植物園 (ロックガーデン)、苗圃など
昭和 5 年 (1930年) 5 月	昭和記念館 (昭和御大典第一朝集所で総桧造り銅葺の豪壮建築) 竣工
昭和 9 年 (1934年) 9 月	室戸台風が直撃し、園内の樹木や建物が多大の被害を受ける
昭和 10 年 (1935年) 6 月	豪雨による賀茂川の氾濫により園内が泥土で埋まる
昭和 20 年 (1945年) 9 月	終戦後、連合軍の駐留に伴い、連合軍の家族住宅地として指定を受ける
昭和 21 年 (1946年) 10 月	園内全面接収となり、家屋、道路の工事に着手
昭和 26 年 (1951年) 2 月	昭和記念館焼失
昭和 32 年 (1957年) 12 月	米軍から全面返還される 従来の面影はなく園内は荒廃する
昭和 34 年 (1959年) 12 月	日本植物園協会臨時総会における関係者の諮問を経た案に基づき、「植物園懇話会」が結成される その後、数回の懇話会を開催し、現在の植物園構想が固まる
12 月 22 日	名称を「京都府立植物園」と改め、園長の下に総務、技術の二課制として再発足する
昭和 35 年 (1960年) 8 月 10 日	園内各所で各種にわたる再建工事に着手する ○ 主な建設工事 大温室・植物園会館・切符発売所・守衛所・休憩所・便所・造園工事など
昭和 36 年 (1961年) 2 月 13 日	財団法人京都府立植物園協力会が発足する
4 月 24 日	竣工並びに開園式を挙げる
4 月 25 日	有料再開園始まる
昭和 38 年 (1963年) 3 月	植物目録を作成する (第 1 回)

昭和 38 年 (1963年) 4 月 7 日	オランダ国皇嗣ベアトリックス内親王殿下啓
昭和 41 年 (1966年) 7 月 16 日	京都府開庁100年を記念して「日本の森」(約90,000㎡)の造成工事に着手する
昭和 44 年 (1969年) 11 月 17 日	京都に伝承される数寄屋造りの技術保存のための茶室建築工事に着手する
昭和 45 年 (1970年) 4 月 25 日	植物園再開10周年記念式典挙行 日本の森(植物生態園)の公開を始める
昭和 47 年 (1972年) 3 月	植物目録を作成する(第2回)
昭和 48 年 (1973年) 8 月 21 日	植物園開園50周年記念事業として、植物園会館の増築(大休憩所・展示場)工事に着手する
昭和 49 年 (1974年) 1 月 1 日	植物園開園50周年を迎える
昭和 51 年 (1976年) 4 月 1 日	60歳以上無料入園制度を実施する
昭和 53 年 (1978年) 2 月 1 日	身体障害者等の福祉入園制度(無料入園)を実施する
昭和 55 年 (1980年) 2 月 5 日	植物園東南部改造整備工事(約25,000㎡)に着手する
昭和 56 年 (1981年) 4 月 11 日	植物園再開園20周年記念式典挙行、洋風花壇の公開を始める
昭和 57 年 (1982年) 3 月	植物目録を作成する(第3回)
4 月 25 日	植物園北山門及び北山門駐車場完成 竣工式を行う
昭和 59 年 (1984年) 1 月 1 日	開園60周年を迎える
4 月 21 日	植物園開園60周年記念式典挙行
平成 元 年 (1989年) 6 月 20 日	植物園整備事業新栽培温室建設工事のため観覧温室閉鎖
10 月 11 日	// 児童遊戯場閉鎖
11 月 13 日	// 着工
11 月 24 日	京都市営地下鉄北山駐輪場建設工事のため北山駐車場閉鎖
平成 2 年 (1990年) 3 月 14 日	植物園整備事業新観覧温室建設工事起工式を行う
3 月 20 日	// 新栽培温室(鉄骨造・平屋建)525.6㎡×4棟完成
5 月 21 日	// 旧観覧温室解体開始
平成 3 年 (1991年) 1 月 16 日	// 旧植物園会館改修(解体)工事着工
4 月 19 日	// 新植物園会館(本体)建設工事着工
10 月 20 日	新観覧温室(4,612.68㎡)建築主体工事完成
平成 4 年 (1992年) 3 月 20 日	新植物園会館建築主体工事、洋風花壇造園・施設整備工事、作業場兼倉庫(北西部)等建設工事、園内便所(北西部)等整備工事完成
3 月 27 日	植物園整備事業新北山門整備工事着工
3 月 31 日	植物園整備事業新植物園会館(同周辺及び正面園路等整備、並びに駐車場増設を含む)及び新観覧温室(正面花壇整備及び未来くん広場新設を含む)竣工式挙行
4 月 1 日	新植物園会館及び新観覧温室オープン
8 月 25 日	皇太子徳仁親王殿下啓
12 月 3 日	植物園整備事業新北山門竣工式 通り初め挙行
平成 5 年 (1993年) 3 月	植物目録を作成する(第4回)
3 月 25 日	南西部(未来くん広場西)便所建設工事完成
5 月 8 日	常陸宮・同妃両殿下お成り

平成 5 年 (1993年) 10 月 1 日	「名月観賞の夕べ」実施 (※令和元年 (2019年) 9月事業終了)
平成 6 年 (1994年) 3 月 31 日	大芝生地便所建設工事完成
8 月 21 日	第24回国際園芸学会議協賛特別展開催 ～27日
9 月 27 日	植物園開園70周年記念式典挙行
平成 7 年 (1995年) 4 月 1 日	植物園・陶板名画の庭共通入園券発売開始
9 月 30 日	植物園西部井戸新設工事完成
平成 9 年 (1997年) 3 月 15 日	かきつばた園改修工事完成
平成 10 年 (1998年) 3 月 25 日	あじさい園造成工事完成
3 月 26 日	福祉のまちづくり対応改修工事完成
平成 14 年 (2002年) 3 月 25 日	茶室を廃止し四阿に改修
平成 15 年 (2003年) 3 月 16 日	皇太子・同妃両殿下行啓 第3回世界水フォーラム関連展示 「日仏政府合作—水と文化の展示—水のこころ」開会式典
平成 16 年 (2004年) 4 月 3 日	春の開園時間延長 ～4月11日 (午後6時30分まで)、4月29日 ～5月5日 (午後7時まで)
10 月	植物目録を作成する (第5回)
10 月 2 日	植物園開園80周年記念式典挙行
平成 17 年 (2005年) 4 月 1 日	再入園制度を開始
7 月 23 日	夏の開園時間延長 ～8月31日 (午後6時まで)
12 月 9 日	観覧温室夜間開園&イルミネーション実施 ～18日 (午後8時まで) (※平成30年 (2018年) 12月事業終了)
平成 18 年 (2006年) 4 月 1 日	「土曜ミニミニガイド」開始
4 月 8 日	桜ライトアップ開始 ～14日 (午後9時まで)
平成 19 年 (2007年) 3 月 31 日	平成18年度年間来園者70万2千人 平成8年以来の70万人を突破
平成 20 年 (2008年) 2 月 15 日	花の回廊～早春の草花展～開催 ～3月20日
3 月 25 日	あじさい園トイレ改築完成
11 月 1 日	ガイドサポーターによる「植物園ガイド」開始
平成 21 年 (2009年) 3 月 27 日	京都府立植物園、京都府立大学、京都府立総合資料館の3機関が 「包括協定」を締結
10 月	京都府立植物園施設整備計画検討委員会の審議を経て、「魅力あふ れる施設」整備計画を策定
11 月 19 日	天皇・皇后両陛下下行幸啓
平成 22 年 (2010年) 5 月 14 日	森の隠れ家トイレ新築工事完成
平成 23 年 (2011年) 3 月 17 日	植物展示場新築工事完成
7 月 23 日	夏の開園時間延長に替えて早朝開園を開始 (7時30分開園)
11 月 1 日	中央休憩所をリニューアルし、「森のカフェ」オープン
11 月 3 日	再開園50周年記念式典挙行
平成 24 年 (2012年) 4 月 27 日	「エコ路地」 開通式と通り初め
6 月 30 日	宿根草・有用植物園を「四季 ^{いろどり} の丘」としてリニューアルオープン
平成 25 年 (2013年) 3 月 1 日	北山通りに賀茂川門を新設 開通式と通り初め

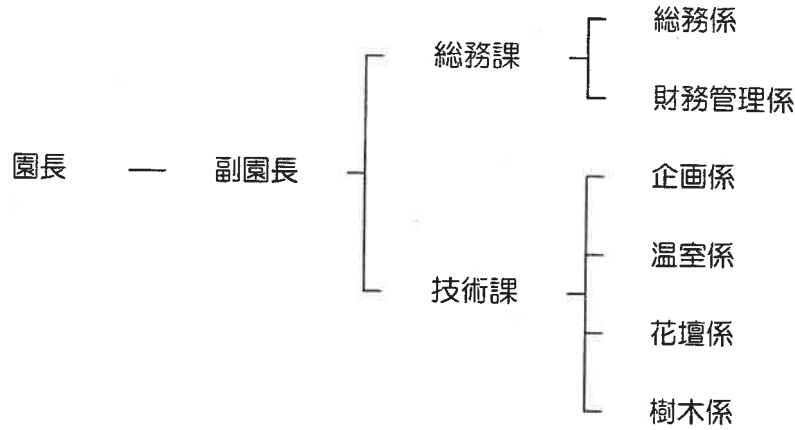
平成 25 年 (2013年)	4 月 1 日	小中学生の入園を無料に 年間パスポート発売開始
	6 月 14 日	ボタニカル・ウィンドウ完成披露
	7 月 1 日	70歳以上無料入園制度を実施する
	8 月 3 日	観覧温室に昼夜逆転室(ナイトフラワーガーデン)、高山植物室を新設し、リニューアルオープン
	8 月 10 日	北山門西隣に北山カフェがオープン
平成 26 年 (2014年)	1 月 1 日	植物園開園90周年を迎える
	3 月 31 日	平成25年度年間来園者80万4千人 平成8年度以来の80万人を突破
	4 月 1 日	京都府立植物園ファンクラブ発足
	5 月 3 日	開園90周年記念「花と緑の園芸フェスティバル」開催 ~5月6日
	6 月 28 日	京都府立植物園公式ロゴマーク決定
 <p>京都府立植物園</p>		
	9 月 25 日	植物園オフィシャルパートナー第1号にタキイ種苗(株)と提携協定
	10 月 25 日	開園90周年記念式典挙行
	12 月 20 日	プロジェクションマッピングRIMPA ~12月24日
平成 27 年 (2015年)	2 月 15 日	京都マラソンの新コースとなる
	3 月 20 日	「京都市動物園・京都府立植物園・京都水族館」が三園館包括交流連携協定を締結
	6 月 25 日	秋篠宮文仁親王殿下お成り 「日本植物園協会50年のあゆみ展」等を御視察
	6 月 25 日	(公財)日本植物園協会創立50周年記念大会を京都で開催 ~6月27日
	7 月 25 日	琳派400年記念 植物園 de RIMPA 「PANTHEON-神々の饗宴-」開催 ~10月25日
	10 月 16 日	絶滅危惧植物保全温室(見えるバックヤード栽培温室)を新設 長崎県対馬市と「対馬に自生する絶滅危惧種の保全に関する連携協定」を締結
平成 28 年 (2016年)	3 月	第2ボタニカル・ウィンドウ完成
	3 月 20 日	「京都市動物園・京都府立植物園・京都市水族館・京都市青少年科学センター」が四園館包括交流連携協定を締結
	5 月 14 日	ガーデンズ・バイ・ザ・ベイと「栽培技術等に関する情報交換、展示及び事業開催手法、出版物等に関する情報交換など」の連携協定を締結
	10 月 11 日	シンガポール植物園と「栽培技術等に関する情報交換、展示及び事業開催手法、出版物等に関する情報交換など」の連携協定を締結
平成 29 年 (2017年)	3 月 10 日	北泉門管理棟新築工事及び北泉門周辺園路整備工事完成
	4 月 27 日	北泉門の開通式と通り初め
	10月22日~23日	台風21号接近により甚大な被害を受ける(応急復旧のため4日間休園)
平成 30 年 (2018年)	1 月 5 日	入園・温室観覧料の一般・セット券販売開始
	2 月 7 日	高校生・セット券発売開始

平成 30 年 (2018年) 3 月	植物園会館の壁面緑化完成
6 月 13 日	京都大学と「植物多様性保全に関する教育及び研究の連携に関する協定」を締結
9 月 4 日	前年に続き台風21号接近により甚大な被害を受ける（応急復旧のため6日間休園）
11 月 1 日	観覧温室再入室制度を開始
平成 31 年 (2019年) 2 月	京都府立植物園100周年未来構想委員会の審議を経て、「京都府立植物園100周年未来構想」を策定
3 月	台風被害から再生・回復していくプロセスを可視化展示し、趣旨を伝える看板を設置
令和 元 年 (2019年) 7 月 15 日	園内全面禁煙
9 月 14 日	ICOM（国際博物館会議）京都会議2019ソーシャルイベント実施
11 月 1 日	商業用写真（婚礼前撮り等）撮影有料化 入園料支払キャッシュレス決済として、PayPayの取扱い開始（令和2年決済代行サービスへ移行）
11 月 15 日	紅葉ライトアップ開始 ～12月1日（午後8時まで）
令和 2 年 (2020年) 3 月 13 日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため観覧温室閉室（～5月31日まで）
4 月 3 日	〃 45日間休園（～5月17日まで）
9 月 10 日	公式Twitter運用開始
9 月 29 日	「北山エリア整備基本計画」（骨子案）についての意見募集開始
11 月 10 日	入園料支払クレジットカード・電子マネー、決済代行サービス利用開始（入園料、温室観覧料、入園・温室観覧料）
11 月 20 日	入園料支払いQRコード決済代行サービス利用開始（入園料、温室観覧料、入園・温室観覧料）
令和 3 年 (2021年) 1 月 15 日	触る園内マップ「触地図」が完成 （令和2年度京都府立大学地域貢献型特別研究（ACTR）事業）
2 月 1 日	「北山エリア整備基本計画」取りまとめの公表
3 月 31 日	令和2年度年間来園者57万4千人 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、再開園（昭和36年）以来、入園者数最少となる
4 月 25 日	新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言に伴う京都府緊急事態措置（要請）による37日間休園（～5月31日まで）

3 組 織

(1) 組 織

(令和3年4月1日)



(2) 職員配置

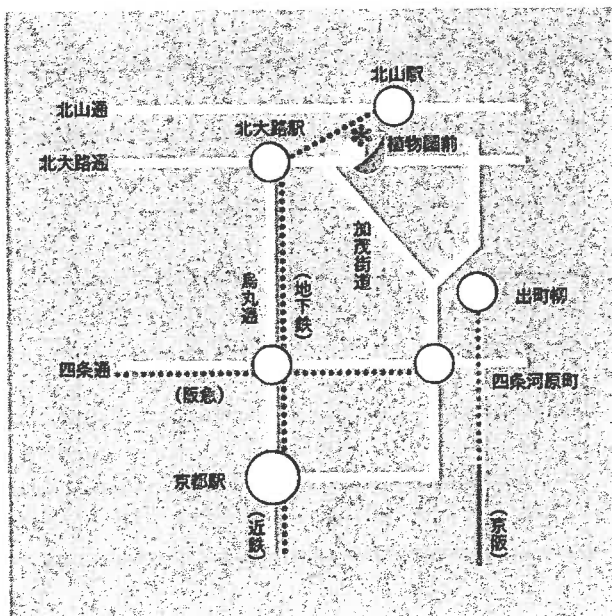
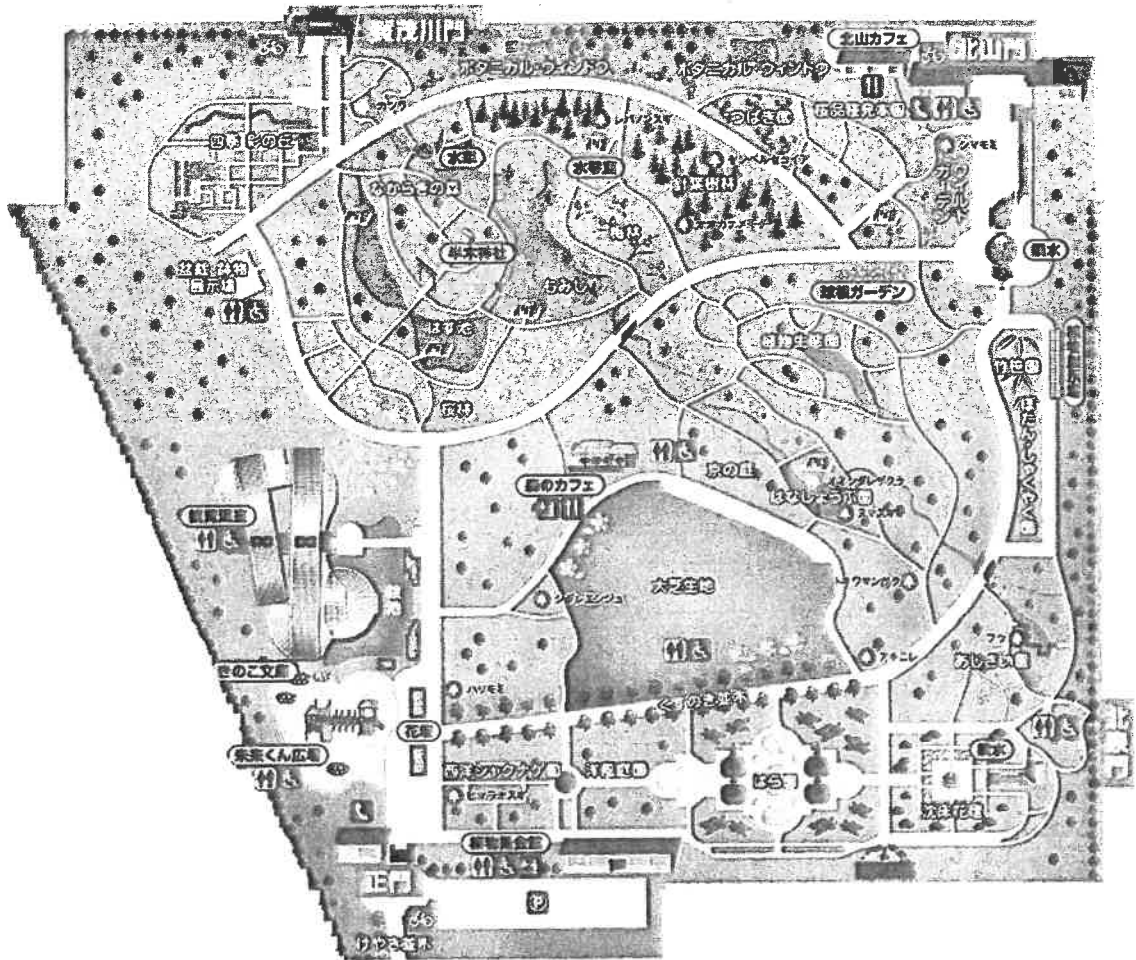
(令和3年4月1日)

区分	園長 副園長	課長	主幹	課長 補佐	係長	専門幹	主査	副主査	主事	技師	計
園長*	1										1
副園長	1										1
総務課		1									1
総務係			1		(主幹兼)			1	1		3
財務管理係				1	(課長補佐兼)		1	1			3
小計		1	1	1			1	2	1		7
技術課		1									1
企画係				1	(課長補佐兼)		2	1		1	5
温室係				1	(課長補佐兼)	1	2	1		3	8
花壇係			1		(主幹兼)	1	2			1	5
樹木係					1	1	1	3			6
小計		1	1	2	1	3	7	5		5	25
合計	2	2	2	3	1	3	8	7	1	5	34

※ 園長は会計年度任用職員

4 施設概要

(1) 京都府立植物園概要図 (総面積 約 240,000 m²)



〈交通案内〉

- JR「京都駅」、阪急「烏丸駅」から
京都市営地下鉄「国際会館」行き
「北山駅」下車 3番出口を出てすぐ
「北大路駅」下車 徒歩約10分
- 京阪「出町柳」駅から
市バス①系統「植物園前」下車 徒歩約5分
京都バス③④⑤系統「植物園前」下車 徒歩約5分

(2) 施設等一覧

区分	名称	所在	備考	建設年度
建物等	植物園会館	正門駐車場北側 (2,206.91㎡)	特記施設等の項参照	昭35・昭48増 平2解・平3
	切符売場・守衛所	正門西側 (60.44㎡)	//	昭35
	北山門管理棟	園北東部 (216.60㎡)	//	昭56・平4
	賀茂川門管理棟	園北西部 (28.00㎡)	//	平24
	北泉門管理棟	園南東部 (28.16㎡)	//	平29
	休憩所 (森のカフェ)	大芝生地北側 (172.24㎡)		平23
	植物展示場	園北東部 (199.37㎡)		平22
	北山カフェ	北山門西側 (314.95㎡)		平25
	東屋	上池 (なからぎの森西側) (7.45㎡)		平成30
	//	はなしょうぶ園 (植物生態園南側) (11.44㎡)		昭44
	//	北山梅林 (園北東部) (19.65㎡)		昭60
	//	中池 (なからぎの森東南側) (9.00㎡)		昭60
	//	水琴窟横 (なからぎの森東北側) (5.80㎡)		平29
	//	はず池 (なからぎの森南側) (6.25㎡)		平20
	便所	盆栽展示場南 (園北西部) (53.20㎡)		平3
	//	未来くん広場 (園南西部) (49.70㎡)		平4
	//	大芝生地南 (60.50㎡)		平5
	//	あじさい園 (洋風庭園東側) (32.40㎡)		平19
	//	森の隠れ家トイレ (森のカフェ東側) (114.72㎡)		平21
	観覧温室	園西部 (4,694.25㎡)	特記施設等の項参照	昭35・昭47増 平2解・平3・ 平25増
	ボイラー棟	観覧温室西側 (180.55㎡)	(観覧温室及び栽培温室用ボイラー)	平2
	電気・ポンプ室	温室ボイラー室北側 (102.00㎡)		昭35・昭42 平2改
	栽培温室	園北西部 (2,900.16㎡)	6棟	平元
	倉庫・作業所等	栽培温室西側他	10棟	

区分	名称	所在	備考	建設年度
	ポンプ室（井水）	電気・ポンプ室北（6.34㎡）		昭43
	ポンプ制御室（井水）	水車北側（7.64㎡）		平2
	公用車ガレージ	植物園会館南東側（36.00㎡）		平3
	エコ路地	植物園東隣（575.99㎡）		平23
	蓄電池置き場	北山門東側（4.00㎡）		平23
	絶滅危惧植物保全温室	賀茂川門西側（152.20㎡）		平27

区分	名称	所在	備考
工作物等	記念碑	未来くん広場南他	2基
	京都府立植物園記念碑（行幸啓記念碑）	観覧温室北東	1基 平22. 3
	彫塑・彫像	洋風庭園他園内各所	15体
	池	なからぎの森周辺	
	〃	植物生態園	
	〃	四季彩の丘	2箇所
	〃	温室東側	平4. 2
	平安の郷こどもの文庫 きのこの家	未来くん広場	図書収蔵庫4棟3,200冊丸太椅子9脚テーブル12基ベンチ24基
	花の案内所	北山門広場北西側	平22. 3
	噴水池	壁泉池（洋風庭園南側）	昭56. 3
	〃	噴水池（洋風庭園東側）	〃
	〃	流水及び噴水池（北山門前広場）	平4. 12
	〃	カスケード（洋風庭園東側）	昭56. 3
	パーゴラ	洋風庭園南西側	ステンレスメッシュベンチ付
	〃	四季彩の丘	
	アーチウェイ	洋風庭園	3基
	トレリス	〃	11基
	日本庭園	大芝生地北側	
	カリヨンベル付時計塔	観覧温室前	平7. 11
	方位盤	大芝生地北側	
	園内案内板（図入）	正面・北山門他	6基（日、英、中、韓）

区分	名称	所在	備考
工作物等	催し案内板	正門	1基
	掲示板	正門・北山門	2基
	園内見所解説板	園内各所	19箇所延22基・枚 (日、英、中、韓)
	半鐘	なからぎの森北西側	
	水車小屋	なからぎの森北側	平23. 12改築
	児童遊具一式	未来くん広場	平17. 3, 平18. 3
	時計塔	北山門噴水広場東側	平5. 3、平23. 11
	ハイブリッド発電塔	正門駐車場出入口付近	平21. 11
	日時計	北山門噴水広場	平25. 9 1基
	水飲場	園内各所	7箇所
	駐車場 (自転車置場含む)	植物園会館南側 (3,800.00㎡)	普通車最大150台収容 平3増
	橋	あじさい園他園内各所	17基
	水琴窟	なからぎの森東北側	平15. 9
	太陽電池時計塔	大芝生地	平23. 11
	ボタニカル・ウィンドウ	つばき園北側 (91.00㎡)	平25. 6
	第2ボタニカル・ウィンドウ	つばき園北側	平28. 3
	石碑 (売茶翁の詩碑)	けやき並木南側	平25. 9
	ソーラーサイクルステーション	駐車場	平26
	壁面緑化	植物園会館	平30. 3
	庭園灯	園内各所	147基 平24. 9
	街路灯	植物園会館南側	5基 平24. 9更新
	分電盤	園内各所	25基 平24. 9
通信器具類	無線放送設備	園内各所	10箇所
その他	大森文庫	会館2階資料室	蔵書約3,000冊 特記施設等の項参照

(3) 特記施設等

ア 植物園会館

- ・RC2階建、延床面積 2,206.91 m²
- ・着 工 平成3年4月19日
- ・オープン 平成4年4月1日

1階 (建築面積 1,086.94 m²)

展示室 (174.19 m²) 休憩所・売店・救護室 (151.50 m²)

便所 (多機能用含む)

園長室・事務室 (223.43 m²) 宿直室

(一財)京都府立植物園協力会事務室 他

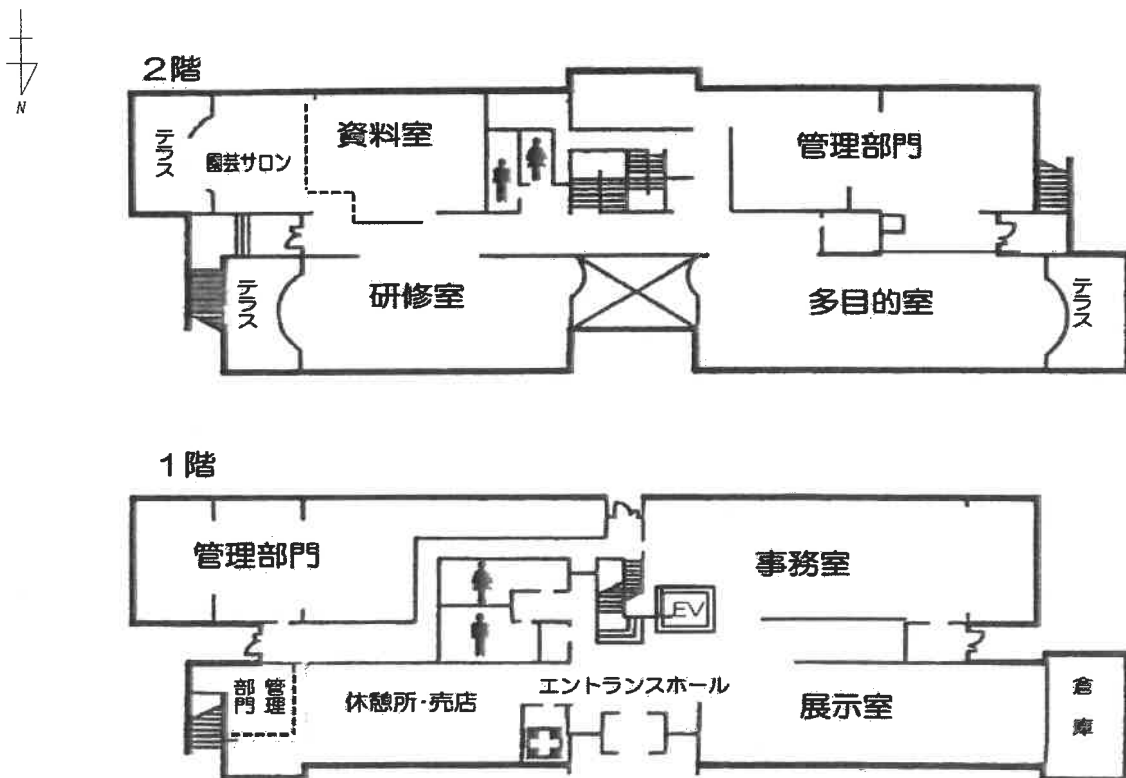
2階 (建築面積 982.05 m²)

研修室 (162.58 m²) 園芸サロン・資料室 (161.32 m²) 多目的室 (218.39 m²)

職員更衣室

(一財)京都園芸倶楽部事務室 他

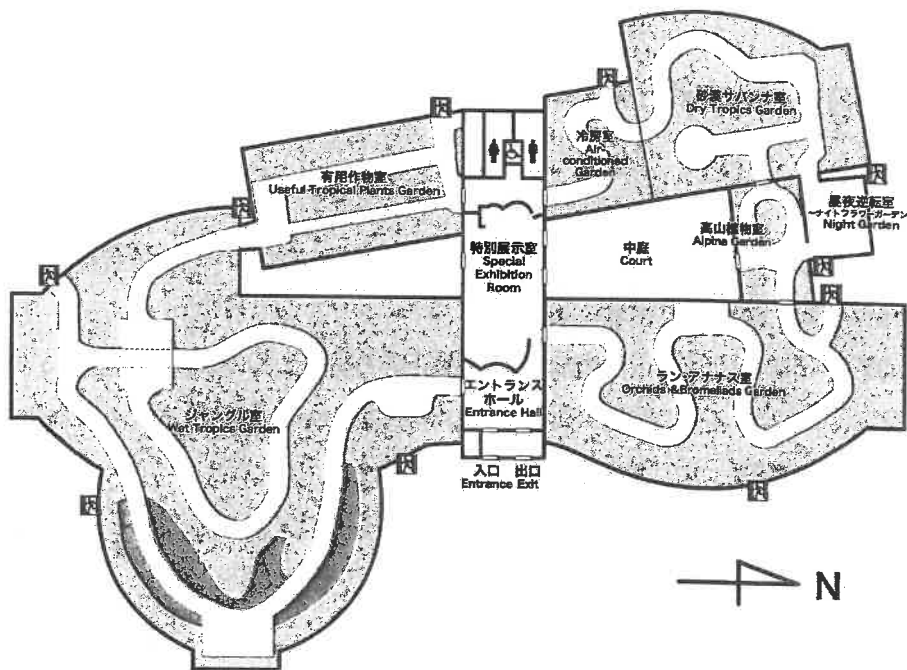
【会館平面図】



イ 観覧温室

- 鉄骨造ガラス張り（一部RC）
- 延床面積 4,694.25 m² 高さ 14.80m
- 着 工 平成2年3月14日
- オープン 平成4年4月1日
- リニューアルオープン 平成25年8月3日
- 展示植物 約4,500種類
- 展示区分 エントランスホール（89.20 m²）、ジャングル室（1,920.80 m²）、有用作物室（380.80 m²）、冷房室（171.40 m²）、砂漠サバンナ室（506.50 m²）、昼夜逆転室（ナイトフラワーガーデン）（81.60 m²）、高山植物室（138.00 m²）、ラン・アナナス室（849.90 m²）
- その他 便所（多機能用含む）、機械室他

【観覧温室平面図】



ウ 切符売場・守衛所

- ・ブロック造陸屋根平屋 60.44 m²
- ・着 工 昭和 35 年 8 月 10 日
- ・オープン 昭和 36 年 4 月 25 日

エ 北山門管理棟

- ・鉄筋コンクリート造 216.60 m²
- ・着 工 平成 4 年 3 月 27 日
- ・オープン 平成 4 年 1 2 月 3 日

オ 賀茂川門管理棟

- ・鉄筋コンクリート造 28.00 m²
- ・着 工 平成 24 年 9 月 16 日
- ・オープン 平成 25 年 3 月 1 日

カ 北泉門管理棟

- ・木 造 28.16 m²
- ・着 工 平成 28 年 9 月 1 日
- ・オープン 平成 29 年 4 月 27 日

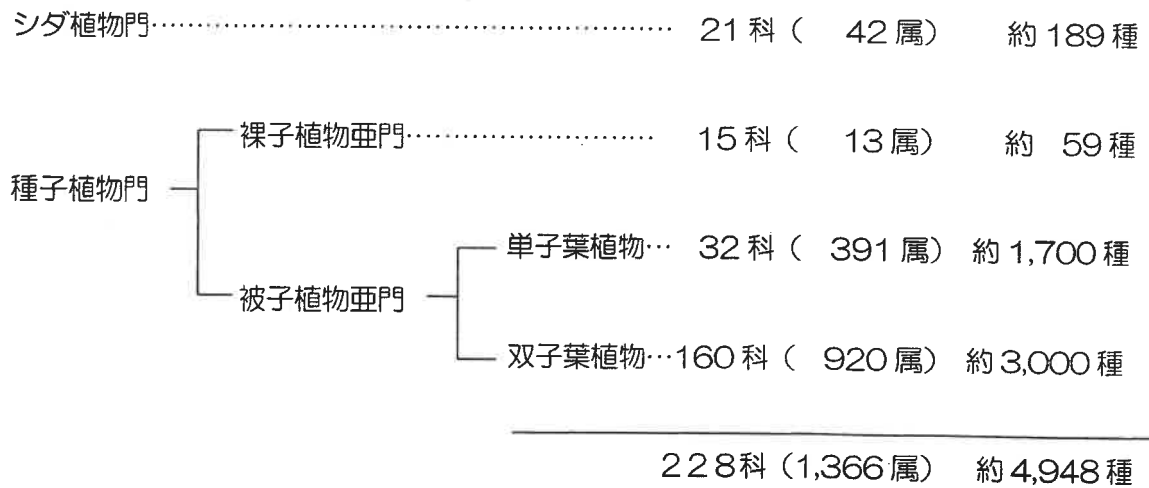
キ 大森文庫

植物園の立案者である大森知事の功績を記念し、大正12年5月各界の有志により設立され、京都府立植物園が管理運営している。

園芸及び本草に関する貴重な図書を集めたもので、「本草綱目金陵本」をはじめ、生薬学、本草学、分類学、古典園芸、科学史等の和漢洋書約 3,000 冊を蔵し、植物研究者、学者、園職員の研究図書として活用されている。

なお、京都府立京都学・歴彩館にも大森文庫図書目録を備えているが、紛失及びき損防止の観点から貸出し及びコピーは禁止している。

(4) 保有植物



その他、園芸植物等は約 7,000 種類あり、保有植物の種および園芸品種の総計は、導入調査中の種および園芸品種を含めて約 12,000 種類である。

5 運 営

(1) 開 園 日

次の休園日を除く毎日
休園日 12月28日～1月4日

(2) 開園時間

午前9時～午後5時（入園は午後4時まで）

(3) 温室観室時間

午前10時～午後4時（入室は午後3時30分まで）

(4) 駐車場利用時間

入 庫 午前9時～午後4時
出 庫 午後5時

(5) 使 用 料

令和3年4月1日現在

種 類		単 位	金 額	説 明		
入 園 料	一 般	一 般	一人1回につき	200円		
		高 校 生	一人1回につき	150円		
	団 体	一 般	一人1回につき	160円		30名以上の団体
		高 校 生	一人1回につき	120円		
	年 間 ポ ー ト パ ス	一 般	購入日より1年間有効	1,000円		
		高 校 生	購入日より1年間有効	750円		
	回 数 券	一 般	11枚綴り	2,000円		
		高 校 生	11枚綴り	1,500円		
	入 共 園 券 通	一 般	一人1回につき	250円		植物園及び陶板名画の庭の共通入園券（券発売は午後3時30分まで）
		高 校 生	一人1回につき	200円		
観 温 覧 料 室	一 般	一人1回につき	200円	「団体」「回数券」及び「共通入園券」の扱いはなし		
	高 校 生	一人1回につき	150円			
駐 車 場 使 用 料	普通自動車	1台1回につき1時間以内	300円	最大料金1,200円		
	バ ス	1台1回につき	2,550円			
	自動二輪車、原動機付自転車、自転車	無	料			

(6) 使用料の減免

(令和3年4月1日現在)

根拠条項	区分	減免する使用料区分			減免割合	備考
		入園	温室	駐車場		
京都府立植物園条 例施行規則第4条	①学術研究	○	○	×	10/10	要申請
	②70歳以上の者	○	○	×	10/10	要証明書 提示※A
	③身体障害者手帳、精神障害者 保健福祉手帳又は療育手帳を 所持する者（介護者を含む）	○	○	○	10/10	要手帳提 示※B
	④府内に住所を有しかつ小学生 （学校教育法（昭和22年法律 第26号）第1条に規定する小 学生の児童）の年齢以下の児 童（以下「当該児童」とい う。）を扶養する親（以下 「当該親」という。）又は祖 父母若しくは当該親が扶養す る当該児童の祖父母が、その 子若しくは孫である当該児童 を伴い利用する場合（駐車場 使用料を除く。）親若しくは 祖父母のうち1人を	○	○	×	10/10	子育て応援 パスポート 提示
	⑤府内の小学校若しくは幼稚園 （学校教育法第1条に規定す る小学校（同条に規定する特 別支援学校の小学部を含む。） 若しくは幼稚園）の児童（以 下「小学生等」という。）を 扶養する親若しくは小学生等 の祖父母が、その子若しくは 孫である小学生等を伴い利用 する場合（駐車場使用料を除 く。）親若しくは祖父母のう ち1人を	○	○	×	10/10	子育て応援 パスポート 提示
	⑥特に知事が必要と認める場合	京都府立植物園使用料減免規程 による			10/10以内	下記減免 規定
京都府立植物園 使用料減免規程 第4条	①戦傷病者手帳又は（原爆）被 爆者健康手帳を所持する者（ 介護者を含む）	○	○	○	10/10	要手帳提示
第5条 第1項 前段	②社会福祉法第2条の社会福祉 事業を行う施設に入所してい る者	○	○	○	10/10	要申請対象 施設の種 類は別途 資料参照
同条 同項 後段	③学校教育法第72条の特別支援 学校並びに第81条の特別支援 学級に在籍する児童・生徒	○	○	○	10/10	要申請
		*教職員が引率の場合に限る *引率教職員及び必要な介護者を含む				
		*教職員が引率の場合に限る *引率教職員及び必要な介護者を含む *特別支援学級の駐車場の扱いについては 特別支援学級のみが入園する場合は無料				

根拠条項	区分	減免する使用料区分			減免割合	備考
		入園	温室	駐車場		
同条第2項	④地域保健法、医療法、障害者自立支援法等による機関又は施設が実施する「機能訓練」、「リハビリテーション」参加者	○	○	○	10/10	要申請対象機関又は施設の種類は別途資料参照
		*職員又は医療関係者が引率する場合に限る *職員、医師、看護（保健）師及び必要な介護者を含む				
第6条第1項、第3項	⑤校外学習のため入園する、学校教育法による高等・高等専門学校に在籍する生徒又はこれに準ずる者	80円/人	80円/人	×	定額制 (左記参照)	要申請
		*教職員が引率し、団体で入園又は入室する場合に限る *引率教職は無料 *人数は問わない				
同条第2項	⑥上記⑤のうち生活保護法による要保護又は準要保護家庭の生徒	○	○	×	上記の定額の全額	上記の申請手続と同時
		*要学校長の証明				
第7条第1項、第2項	⑦団体で入園する幼稚園、保育園等、小学校、中学校の園児・児童・生徒等	○	○	×	10/10	要申請
		*引率教職員、保育士等を含む				
第8条第1項	⑧ア。京都府の主催に係る事業で、園長が必要と認めた場合。 イ。国又は地方公共団体が行う学術、若しくは文化等に係る事業であって、園長がそれに協力することを認めた場合。 ウ。報道機関が報道又は公益上必要と認められる用に供する場合。 エ。その他公益上特に必要と認められる場合。					要申請
		減免・免除の区分、対象、内容はその都度承認				

※A 氏名、満年齢の記載のある証票

※B これらの「手帳」に代えて、障害者手帳アプリ「ミライロID」及び京都市が発行する「福祉乗車証」でも可

6 令和2年度運営実績

(1) 利用状況

ア 入園者数及び温室入室者数

(単位：人)

月	入 園 者				
	有 料 入 園 者			無 料 入園者	合 計
	一 般	高 校 生	小 計		
4	953 (0)	11 (0)	964 (0)	2,484 (0)	3,448 (0)
5	10,497 (0)	97 (0)	10,594 (0)	26,243 (0)	36,837 (0)
6	12,988 (2,913)	91 (36)	13,079 (2,949)	32,382 (3,726)	45,461 (6,675)
7	6,595 (2,246)	64 (44)	6,659 (2,290)	20,454 (3,067)	27,113 (5,357)
8	5,554 (1,938)	93 (36)	5,647 (1,974)	14,335 (2,270)	19,982 (4,244)
9	11,156 (3,224)	245 (44)	11,401 (3,268)	29,290 (4,264)	40,691 (7,532)
10	19,882 (4,851)	147 (65)	20,029 (4,916)	55,782 (9,038)	75,811 (13,954)
11	34,528 (6,422)	780 (94)	35,308 (6,516)	65,969 (17,937)	101,277 (24,453)
12	7,948 (3,087)	105 (41)	8,053 (3,128)	26,234 (4,885)	34,287 (8,013)
1	4,187 (1,567)	41 (19)	4,228 (1,586)	20,526 (3,112)	24,754 (4,698)
2	14,758 (4,225)	173 (81)	14,931 (4,306)	45,415 (7,185)	60,346 (11,491)
3	31,551 (6,727)	748 (201)	32,299 (6,928)	71,778 (9,429)	104,077 (16,357)
合計	160,597 (37,200)	2,595 (661)	163,192 (37,861)	410,892 (64,913)	574,084 (102,774)

※ 下段（ ）書きは観覧温室入室者数

※ 令和2年4月1日から5月31日まで、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策のため観覧温室は閉室

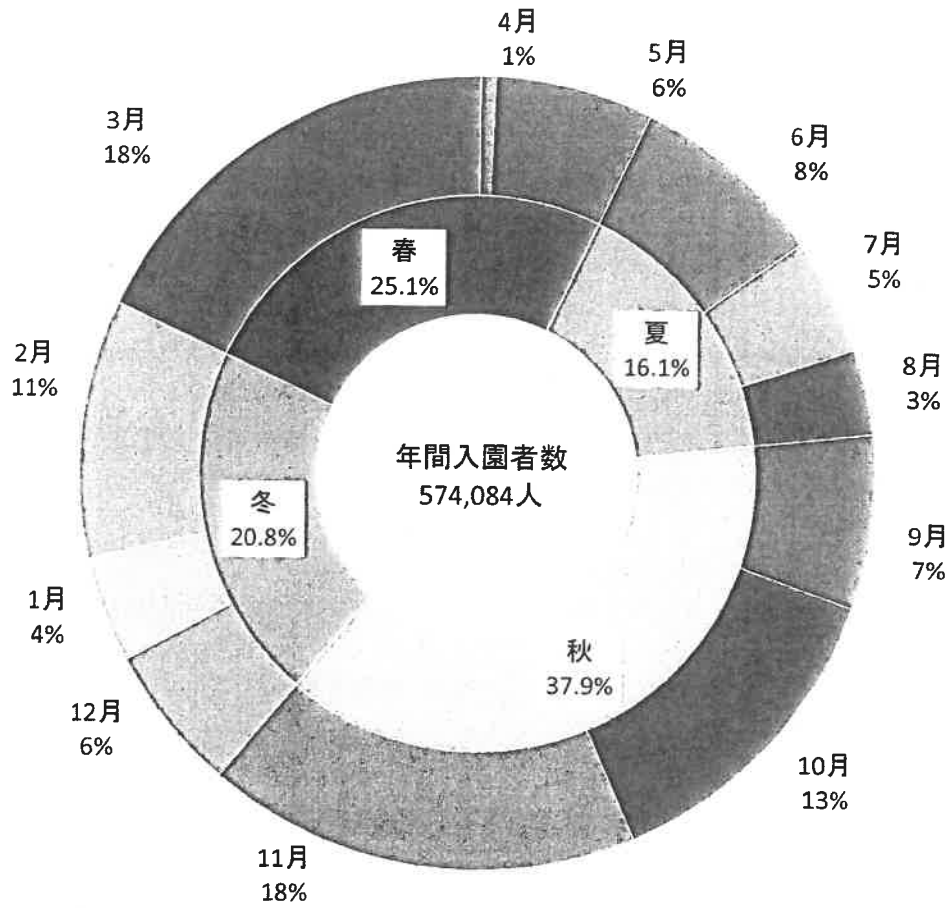
※ 令和2年4月3日から5月17日まで、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策のため臨時休園

イ 駐車場利用自動車数

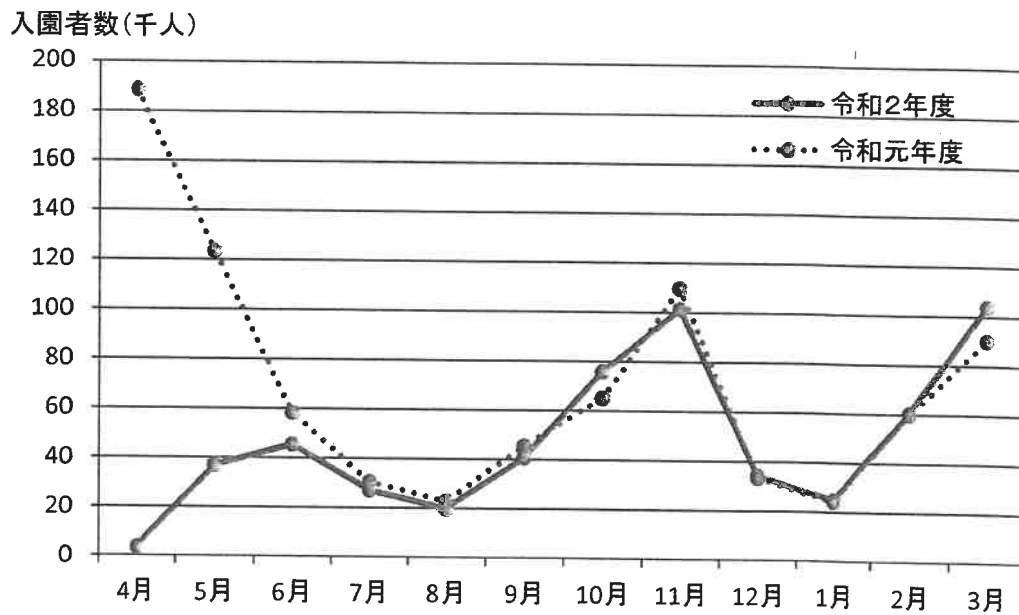
(単位：台)

月	自 動 車								
	有 料 自 動 車			無 料 自 動 車			合 計		
	バス	普通 自動車	計	バス	普通 自動車	計	バス	普通 自動車	計
4	2	236	238	0	56	56	2	292	294
5	0	2,846	2,846	0	671	671	0	3,517	3,517
6	2	3,260	3,262	0	659	659	2	3,919	3,921
7	0	1,636	1,636	0	386	386	0	2,022	2,022
8	1	1,316	1,317	0	256	256	1	1,572	1,573
9	4	2,514	2,518	0	550	550	4	3,064	3,068
10	41	4,261	4,302	0	968	968	41	5,229	5,270
11	23	6,160	6,183	1	1,254	1,255	24	7,414	7,438
12	3	1,884	1,887	0	488	488	3	2,372	2,375
1	1	1,386	1,387	0	405	405	1	1,791	1,792
2	15	3,899	3,914	0	941	941	15	4,840	4,855
3	2	5,787	5,789	0	1,383	1,383	2	7,170	7,172
計	94	35,185	35,279	1	8,017	8,018	95	43,202	43,297

ウ 月、季節別入園者割合



エ 月別入園者数の推移



(2) 主な栽培品種

ア 常設展示

(ア) 代表的な植物

① 奇想天外 *Welwitschia mirabilis* ウェルウィッチア科

1973年(昭和48年)、ジンバブエから種子導入。

1992年(平成4年)8月、雌花が国内初開花。

1995年(平成7年)8月、日本新薬京都山科植物資料館の雄株により人工交配。

1996年(平成8年)2月、実生苗の育成に成功し、実生株を一般公開。

② エキウム・ウィルドプレッティアー *Echium wildpretii* ムラサキ科

(別名 宝石の塔= Tower of Jewels) カナリア諸島原産。

1980年にデンマークの植物園から種子導入し、露地栽培に国内で初めて成功。

その特異な姿に、大変な人気だが、播種から開花に至るまでに2~3年という長期間を要する。

本種で3mに近い花茎に栽培できるのは本園のみ。

平成17年開催の「愛・地球博」に栽培困難種として、5株提供した。

③ アフリカバオバブ *Adansonia digitata* アオイ科

現在、本種の開花がみられるのは日本では珍しい。(沖縄、富山、新潟、山口と本園のみで開花)

1991年(平成3年)11月、セネガルから成木を導入。

1999年(平成11年)国内初開花。

2001年(平成13年)初結実。2013年(平成25年)以降は毎年結実。

現在、世界のバオバブ9種のうち7種(アフリカ、フニー、ザー、ディディエ、オーストラリア、マダガスカル、ペリエ)を保有しているのは国内唯一。

④ ホウガンノキ *Couroupita guianensis* サガリバナ科

現在、開花結実がみられるのは沖縄と本園と咲くやこの花館のみ。

1991年(平成3年)に導入。

2002年(平成14年)園内初開花。

2004年(平成16年)園内初結実(人工授粉による)、国内2例目。

(イ) 花壇 P. 48 参照

AAS (All-America Selections) や FS (Fleuroselect) で金賞を受賞した新品種をはじめ、四季折々の様々な種類の1、2年生草花を中心に宿根草、球根類など植栽。特に近年の酷暑に対応するため、初夏から秋は熱帯植物を中心に植栽・展示。

AAS、FS は全米、全欧でそれぞれ最も権威のある草花新品種の審査会であり、金賞に入賞した品種を展示できるディスプレイガーデンとして認められている植物園は、東アジアでは数か所のみである。

(ウ) 四季 彩の丘（しき いろどりのおか）

丘や岩山、小川や池など、変化に富んだ自然環境を再現。世界中の宿根草、有用・水生植物等を集めて展示しており、ハス・京野菜・ひょうたん・クリスマスローズなど、一年を通して四季折々の植物を楽しむことができる。

四季 彩の丘には、以下のエリアも含まれる。

①絶滅危惧種園

日本には約 7,000 種の維管束植物が自生し、そのうち 1,790 種が絶滅危惧植物になっている（環境省レッドリスト 2020）。これらの植物を守り、府民への啓発を行う取り組みの一環として、絶滅危惧植物をはじめ日本の貴重な植物を増殖し展示している。

②中国植物園

中国植物園では中国原産の植物を栽培している。有史以前、日本は中国と陸つづきであったため、わが国の植生に大きな影響を及ぼした。また、古代以降は文化・経済的な交流が盛んであったため、わが国の園芸品種にも影響を与えた。

このエリアではつる性のクレマチス・モンタナやテッセン、ハンカチノキ、モクレン科の植物など花木類や、ハッカクレンなど草本類といった多様な植物を植栽展示している。

(エ) 樹木

項目	内容
種類	約 1,800 種類（園芸品種含む）
本数	55,000 本
主な樹木など	ウメ 60 品種 100 本 ツバキ 250 品種 600 本 サクラ 170 品種 500 本

①オオカナメモチ *Photinia serratifolia* バラ科

1935 年（昭和 10 年）、中国の南京総理陵園記念植物園から種子導入。

1937 年（昭和 12 年）6 月 18 日、貞明皇太后行啓記念樹

②カイツカイブキ *Juniperus chinensis* ‘Kaizuka’ ヒノキ科

1924 年（大正 13 年）、京都の風土と洋風花壇の融合を図る目的から導入。

独特の樹姿は日本のみならず西欧からの来園者に人気。約 130 年生。

③シダレエンジュ *Styphnolobium japonicum* f. *pendulum* マメ科

1934 年（昭和 9 年）、菊池秋雄元園長が、日本でははじめて中国（熊岳城）から持ち帰った穂木を高接ぎした個体（日本で最古）が現存。

④シマモミ（別名タイワンユサン） *Keteleeria davidiana* var. *formosana* マツ科

1935 年（昭和 10 年）、台北林業試験場から小苗を譲受。傘型の独自の樹形。

- ⑤トチュウ *Eucommia ulmoides* トチュウ科
1937～8年(昭和12～13年)、導入。日本最大級。
杜仲茶のコマーシャルで一時注目を浴びる。
- ⑥ヒマラヤスギ *Cedrus deodara* マツ科
1917年(大正6年)頃、導入。この種子を全国に配布した。
園内最大の胸高直径(約150cm)。樹齢約110～120年生。
- ⑦フウ *Liquidambar formosana* フウ科
来歴は不明だが、胸高直径約80cmと大きい。推定樹齢100年。
西日本最大級。秋の紅葉は美しく人気。
- ⑧シナマンサク *Hamamelis mollis* マンサク科
1936年(昭和11年)、中国廬山植物園から種子導入。
2月ごろ他の花木に先がけて咲きはじめる。
- ⑨ヌマスギ *Taxodium distichum* ヒノキ科
1935年(昭和10年)、京都帝国大学農学部摂津農場附属古曽部園芸場温室から導入。
隣接する「はなしょうぶ園」にて呼吸根が生長している。
- ⑩カンレンボク *Camptotheca acuminata* ヌマミズキ科
1937年(昭和12年)、中国南京総理陵園記念植物園から種子導入。
広葉樹とは思えない直立した主幹。国内初導入。
- ⑪ランシンボク *Pistacia chinensis* ウルシ科
(別名 孔子木、学問の木、カイノキ)
1965年(昭和40年)、金沢文庫から3本の苗木を譲受。
一本は雌株。オレンジ色の紅葉の代表格。
- ⑫オオシダレザクラ *Cerasus itosakura* バラ科
円山公園枝垂れ桜の姪っ子桜。
1964年(昭和39年)十五代佐野籐右衛門(先代)から苗を譲受。昭和45年に植栽。
- ⑬宇宙桜
2008年(平成20年)11月15日 14種類の桜の種子がエンデバー号で打ち上げられた。2009年(平成21年)9月 14種類の桜の種を5～10粒ずつ譲受。
9月末以降 播種
2010年(平成22年)3月19日以降、まず薄墨桜の種子が発芽し、その後計7種類が育っている。

(オ) 温室植物

- ①ムクナ・ノヴォグイネエンシス *Mucuna novo-guineensis* マメ科
1987年(昭和62年)、スリランカから種子導入
1993年(平成5年)4月、国内初開花。

- ②チフォノドルム・リンドレヤヌム *Typhonodorum lindleyanum* サトイモ科
1991年（平成3年）、マダガスカルから国内初導入、1992年8月に国内初開花。
国内最大株。
- ③ラパジュリア・ロセア *Lapageria rosea* フィレシア科
チリ南部の山地原産で暑さに弱い。チリの国花。
- ④ゲラニウム・マデレンセ *Geranium maderense* フウロソウ科
1992年（平成4年）、イギリスから種子導入。国内初開花。
- ⑤ダシリリオン・グラウコフィルム *Dasyliirion glaucophyllum* クサスギカズラ科
1980年（昭和55年）、イタリアから種子導入。
2005年（平成17年）9月、雌花 国内初開花。
- ⑥アリストロキア・サルバドレンシス *Aristolochia salvadrensis*
ウマノスズクサ科
初開花当時、国内の開花株は本園含め2園のみ。 原産は中米。
2000年（平成12年）3月摂南大学から挿し木発根苗を譲受。
2010年（平成22年）初めて果実をつける。
- ⑦アリストロキア・アルボレア *Aristolochia arborea* ウマノスズクサ科
初開花当時、国内の開花株は本園のみ。
原産地は、メキシコからエルサルバドルにかけての中央アメリカ。
2000年（平成12年）9月インドネシアのボゴール植物園から挿し穂を譲受。
2008年（平成20年）9月本園初開花。
2010年（平成22年）初めて果実をつける。
- ⑧クバノラ・ドミンゲンシス *Cubanola domingensis* アカネ科
2006年（平成18年）播種、2010年（平成22年）9月国内初開花。ドミニカ
共和国原産。
- ⑨コリアンテス・マクランタ *Coryanthes macrantha* ラン科
ブラジルなど熱帯雨林に自生する着生ラン。別名バケツラン。
2011年（平成23年）8月園内初開花。その後、次々と開花に成功している。
- ⑩エンセテ・グラウカム *Ensete glaucum* バショウ科
原産はミャンマー、中国など。
本種は栽培が難しく、開花に至る例は少ない。
当園では2005年（平成17年）5月に一度開花し、2008年（平成20年）の
開花は2例目。
2005年（平成17年）開花後採種し、実生繁殖した個体が花を咲かせたもの。
発芽させること自体が難しい植物で、栽培条件下で実生繁殖した第2世代が開花した
例は極めて珍しく、国内では初めて。

- ⑪タイガーオーキッド ラン科
ランの中で株が世界最大の種群。花の表面に付く斑点が虎の縞模様に似ていることから名付けられた。*Grammatophyllum speciosum*を含め3タイプを持つのは本園のみ。ボルネオタイプ (*G. pantherinum*) とフィリピンタイプ (*G. wallisii*) は国内初開花。
- ⑫チャポディア・スプレンドENS *Csapodya splendens* アカネ科
メキシコ原産の常緑低木。1972年(昭和47年)に発見された比較的新しい種類。当園で2013年(平成25年)8月3日に国内初開花。
- ⑬オサ・プルクラ *Osa pulchra* アカネ科
コスタリカ、パナマ原産の常緑低木。トランペット形の花は長さ約30cmで、花色は淡黄緑色から白色。当園では、2014年(平成26年)4月4日に初開花した。日本でも初開花。
- ⑭ドラクラ・ギガス *Dracula gigas* ラン科
ラン科。エクアドル北部からコロンビアにまたがる高地に自生する着生ラン。別名モンキーオーキッド。2015年(平成27年)8月園内初開花。
- ⑮サイコトリア・ポエピギアナ *Psychotria poeppigiana* アカネ科
別名ホット・リップス。コロンビア、コスタリカなどの中南米原産。冬から夏にかけて開花する常緑低木。2017年(平成29年)3月園内初開花。
- ⑯ブルボフィルム・マクロブルブム *Bulbophyllum macrobulbum* ラン科
ニューギニア島原産の着生ラン。2015年(平成27年)4月に導入し、2017年(平成29年)8月に国内初開花。
- ⑰フニーバオバブ *Adansonia fony* アオイ科
2001年(平成13年)10月にマダガスカルから導入し、2016年(平成28年)8月に園内初開花。2017年(平成29年)にも開花。
- ⑱フラグミペディウム・コバチー *Phragmipedium kovachii* ラン科
ラン科。ペルー原産。「過去100年で最も素晴らしい蘭の発見」と話題になった。2017年(平成29年)2月に導入し、2018年(平成30年)12月に園内初開花。
- ⑲ドリアン *Durio zibethinus* アオイ科
マレー半島原産。果物の王様として有名。1999年(平成11年)12月にマレーシアから導入し、2019年(平成31年)3月に園内二度目の開花。未着果。
- ⑳アングレクム・ロンギカルカル *Angraecum longicalcar* ラン科
マダガスカル原産。同属のセスキペダレよりも長い距を持つ。2018年(平成30年)12月に導入し、2019年(令和元年)10月に園内初開花。

②カエンボク（黄花） *Spathodea campanulate* ‘Yellow Flower Form’

ノウゼンカズラ科

2019年（平成31年）3月に導入し、2021年（令和3年）に園内初開花。

(カ) 主な植栽エリア

エリアなど	内 容
ワイルドガーデン	樹木や起伏を活かし、季節の代表的植物はじめ、様々な種類の1・2年生草花や宿根草、球根類を植え付け、自然な雰囲気を出した花壇。
ばら園	洋風庭園の一角を占め、モダンローズ、オールドローズ、原種など322品種・1,378株を栽培展示。
はなしょうぶ園	江戸系、肥後系、伊勢系や長井古種など約150品種、10,000株を栽培展示。
ぼたん・しゃくやく園	竹笹園に隣接し様々な色・花形のボタン約160品種160株、シャクヤク約110品種330株を栽培展示。
あじさい園	日本に自生するアジサイや西洋アジサイ、中国原産種など、約180種類、2,500株を栽培展示。
竹 笹 園	マダケの品種キンメイチクや東南アジア原産のホウライチクなど約70種類を植栽展示。
盆栽・鉢物展示場	松柏類などの盆栽、雑木の鉢物など約40種類、約80鉢を常設展示。
植物生態園	日本各地に自生する植物を生態的にできるだけ自然に近い状態で、約1,000種類を植栽展示。面積は約15,000㎡
四季 彩の丘	四季を彩る宿根草や有用植物、また、絶滅危惧種園・中国植物園・水辺エリアなどを設け、様々な草本・木本類を植栽展示。
針葉樹林地	1904年に台湾の玉山（新高山）で発見されたタイワンスギや1953年（昭和28年）に導入したメタセコイヤなど、世界の針葉樹約50種類植栽展示。
大芝生地	様々な樹木に囲まれた憩いの広場。面積は約15,000㎡。

くすのぎ並木	<p>植物園創設以来ある樹齢 100 年を超えるクスノキ約 70 本が、東西に 200m 続く園のシンボリックな並木。川端康成の小説「古都」にも登場する。</p>
けやき並木	<p>当初アメリカキササゲであったがシリブカガシを経て、現在は樹齢 100 年近くになるケヤキ約 60 本が南北に 250m 続く植物園へのアプローチ</p>
桜林・桜品種見本園	<p>正門花壇及び観覧温室の北側一帯に広がる桜林は、ソメイヨシノとヤエベニシダレを中心に、また、北山門西側の桜品種見本園ではサトザクラを中心に植栽している。春には園内に植えられた 170 品種 500 本のサクラの花が、植物園を代表する景色となっている。</p>
つばき園	<p>園北東部に、日本を代表する園芸植物のひとつとして古来数多くの品種が作られているツバキ約 250 品種 600 本を見本形式で植栽している。</p>
なからぎの森	<p>植物園創設以前より半木神社の社叢としてあったもので、池に囲まれた中に残る園内唯一の自然林でムクノキやエノキ、カゴノキなど山城盆地原植生の名残を留める樹木が茂る貴重なエリア。</p>
はす池	<p>花色が淡桃色から白色に変化する‘巨椋の曙’と、花に斑が入る‘巨椋斑’を植栽している。東屋からは、旧巨椋池を思わせる大群落を楽しむことができる。</p>

(3) 事業

ア 行事一覧

(ア) 展示会

展示会名	会期	概要	場所
第29回 球根ペゴニア展	3月28日(土) ～4月12日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	観覧温室・ ジャングル室
第41回 京都盆栽展	4月3日(金) ～4月6日(月)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	展示室
第28回 しゃくなげ展	4月10日(金) ～4月12日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	展示室
第9回 サトザクラ展	4月17日(金) ～4月20日(月)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	展示室
第29回 フクシア展	4月24日(金) ～5月10日(日祝)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	観覧温室・ ジャングル室
第41回 エビネ展	4月29日(水祝) ～5月3日(日祝)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	展示室
第59回 山草野草展	4月29日(水祝) ～5月5日(火祝)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	植物展示場
第25回 イワドリと小町蘭展	5月4日(月) ～5月5日(火祝)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	展示室
第2回 高山植物展	5月7日(木) ～5月11日(月)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	観覧温室・ 高山植物室
第27回 長生蘭展	5月8日(金) ～5月10日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	展示室
バラ切り花展示 (日本ばら会京都部会)	5月15日(金) ～5月16日(土)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	多目的室
第47回 サボテン展	5月15日(金) ～5月17日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	展示室
バラ切り花展示(京都ばら会)	5月17日(日) ～5月18日(月)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	多目的室
第57回 さつき展	5月28日(木) ～5月31日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	展示室
第11回 初夏の洋ラン展	5月28日(木) ～6月1日(月)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	観覧温室・ 特別展示室
第28回 ウチョウラン展	6月12日(金) ～6月14日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	展示室
第18回 富貴蘭展	7月3日(金) ～7月5日(日)	富貴蘭約200点を展示(販売あり) 共催: 趣味の富貴蘭会京都	展示室
第29回 食虫植物展	7月23日(木) ～8月10日(月)	ウツボカズラ、サラセニアなど100種類150鉢を展示 23日午後1時から、24日、25日、26日は販売あり 7/27～8/10の小学生以下を対象とした観察会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	観覧温室・ 特別展示室
夏の子ども写生大会・ 写生コンクール絵画展 (小・中学生)	7月27日(月) ～8月2日(日)	夏の子ども写生大会・写生コンクールが雨天中止のため、絵画展も中止	展示室
第61回 朝顔展	7月31日(金) ～8月4日(火)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	植物展示場
第4回 帰化植物展	8月7日(金) ～8月16日(日)	テーマ:「侵略的外来植物」 帰化植物の写真展示、解説文のパネル及び切花(生物教育会採集品)等の展示 共催: 京都府生物教育会	展示室
夏休み子ども向け食虫植物の展示	8月11日(火) ～8月31日(月)	食虫植物展後も夏休み期間中は食虫植物展示	観覧温室
「芦生の天然林と着生植物」写真展 (芦生シンポジウム関連展示会)	8月21日(金) ～8月30日(日)	芦生の植物を長年調査研究されている植物研究家福本繁氏が撮りためた 京都大学芦生研究林内の風景や植物などの写真約50点	展示室
第5回 水草展	8月28日(金) ～9月27日(日)	様々な水草を鉢で屋外展示 展示協力者: 南九州植物園 脇田 洋一(わきたよういち)氏	植物園会館前
第9回 植物画展	9月11日(金) ～9月20日(日)	植物の特徴を再現し、植物の色や形をありのままの姿で表現した絵を公募で集めて 展示 作品募集定数90点	展示室
第59回 植物作品展	9月17日(木) ～9月27日(日)	児童・生徒が作成した植物の標本や研究作品などを展示	多目的室
緑化ポスターコンクール	9月26日(土) ～9月27日(日)	緑化推進の啓発のための児童等が作成したポスターのコンクール入賞作品の展示 モデルフォレスト協会	展示室
第23回 秋の京都盆栽展	10月2日(金) ～10月5日(月)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	展示室
第40回 秋の山野草とした展	10月9日(金) ～10月12日(月)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	展示室
第5回 インテリア・プランツ展	10月9日(金) ～10月13日(火)	室内で楽しめる多肉植物、観葉植物、エアープランツ等を展示(販売有り)	観覧温室・ 特別展示室
第53回 秋のバラ展	10月16日(金) ～10月18日(日)	バラの切り花約300本を展示 共催: 京都ばら会、日本ばら会京都部会	展示室
第54回 菊花展	10月20日(火) ～11月15日(日)	大菊、小菊(懸崖作り、盆栽作り)等約300鉢を展示(販売有り) 共催: 京都菊花連合会	大芝生地 特設展示場 他
第3回 秋の洋ランと着生植物展	10月22日(木) ～10月26日(月)	秋に咲く洋ラン約200鉢とシダ類等の着生植物を展示(販売あり) 共催: 京都洋ラン研究会 植え替え実演会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	観覧温室・ 特別展示室
第29回 きのこと展	10月24日(土) ～10月25日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	展示室
ガーデニングコンテスト	10月24日(土) ～11月8日(日)	個人・グループがガーデニング力を競う	正門園路 特設ガーデン
植物園の森と水 油彩展	10月27日(火) ～11月1日(日)	芦田桂子氏ほか 植物園の樹木や水辺を描いた作品を展示	展示室
第36回 菊花切花展	11月3日(火祝) ～11月5日(木)	大菊の切り花約100点を展示 共催: 京都菊花連合会	多目的室

展示会名	会期	概要	場所
美しい鴨川を子どもたちに残そう展	11月3日(火) ～11月11日(水)	鴨川美化啓発活動の半世紀に亘る様々な活動と、明治や大正時代の貴重な記録写真などをパネルで紹介 共催：鴨川を美しくする会、(一社)鴨川流域ネットワーク	展示室
第8回 苔・こけ・コケ展	11月6日(金) ～11月8日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	展示室
第29回 寒蘭展	11月13日(金) ～11月15日(日)	カンラン約100点及び席飾り5席を展示(即売有り) 共催：東洋蘭浴風会	展示室
第8回 草花アートボトル展	11月21日(土) ～11月29日(日)	様々な花を特殊乾燥させ自然の雰囲気を意識して作った作品を展示 共催：山野草アートボトル同好会	展示室
第29回 ポインセチア展	12月1日(火) ～12月25日(金)	ポインセチア約100品種、700鉢を観覧温室で展示。特別展示室で「クリスマス飾り」を展示	観覧温室・ ジャングル室、 特別展示室
フラワーデザイン展	12月4日(金) ～12月6日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	展示室
第52回 野外彫刻展	12月5日(土) ～12月20日(日)	京都彫刻家協会員の作品約40点を展示 催：京都彫刻家協会(文化芸術振興課事業)	園内各所
野外彫刻展小品展	12月12日(土) ～12月20日(日)	室内での彫刻展示	展示室
第10回 新春を彩る寄せ植え ハンギングバスケットコンテスト展	1月10日(日) ～1月31日(日)	「京都らしさ」をテーマにした冬期の寄せ植え、ハンギングバスケット展示約100点 共催：日本ハンギングバスケット協会京都支部	北山門周辺
第29回 洋ラン展	1月29日(金) ～2月11日(木)	洋ラン約200鉢を展示(販売あり) 共催：京都洋ラン研究会	観覧温室・ 特別展示室
若手作家による希少植物作品展 -あしもとにゆらくvol.2-	1月30日(土) ～2月7日(日)	若手作家による水彩画等を展示 京都のものだけでなく全国各地の希少植物を描いた作品展	展示室
第9回 シャドーボックス作品& クラフト展	2月12日(金) ～2月21日(日)	「植物」をテーマにシャドーボックスなど約40点を展示 会期中の11時～16時にシャドーボックス体験教室(随時受付 受講料800円) フェルトアート体験教室は12日、21日13時～16時(随時受付) 受講料800円) 共催：手工芸同好会花のある暮らし	展示室
第16回 早春の草花展	2月13日(金) ～3月14日(日)	～春を感じる風の中で～ 早春の草花100種 200品種、10,000株の展示 パンジー、ヒオラ、ストック、キンギョソウなど	大芝生地・ 移動歴形
京都新世代いけばな展2021	2月20日(土) ～2月23日(火祝)	「#ハッシュタグ ハナノコキョウ 明日へのエナジー」 をテーマに若手華道家の作品を展示	くすのぎ並木
第16回 早春の園芸市	2月26日(金) ～2月28日(日)	雪割草、サボテン類など、話題の植物を集めた園芸市	展示室
第29回 香蘭展	3月12日(金) ～3月14日(日)	シュンラン約100点及び席飾り5席を展示(販売あり) 共催：東洋蘭浴風会	展示室
第34回 早春の山野草展	3月19日(金) ～3月22日(月)	早春に咲く山野草約250点を展示(販売あり) 共催：京都山草会	展示室
第60回 つばき展	3月26日(金) ～3月28日(日)	京都の名植などツバキの切り枝展示 共催：(財)京都園芸倶楽部	展示室
第7回 カンアオイ展	3月26日(金) ～3月28日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	多目的室
第29回 球根ベゴニア展	3月27日(土) ～4月11日(日)	球根ベゴニア約300鉢を展示	観覧温室・ ジャングル室

(イ)講習会、講演会

行事名	会期	概要	参加人数
小菊盆栽講習会(1)	4月4日(土)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
盆栽展 関連講習会	4月5日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
アートボトル講習会①	4月9日(木)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
しゃくなげ展 関連講習会	4月12日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
東洋蘭講演相談会	4月12日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
バラ栽培講習会	4月18日(土)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
サトザクラ展 関連講演会	4月19日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
フクシア展 関連講習会	4月26日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
エビネ展 関連講習会	4月29日(水祝)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
山野草展 関連講習会	5月3日(日祝)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
小菊盆栽講習会(2)	5月5日(火)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
朝顔講習会(1)	5月9日(土)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
高山植物展 関連講演会	5月9日(土)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
長生蘭展 関連講習会	5月10日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
アートボトル講習会②	5月14日(木)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
サボテン展 関連講習会	5月17日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
たねちから講習会①	5月23日(土)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
ハンギングバスケット講習会①	5月24日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
さつき展 関連講習会	5月31日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-

行事名	会期	概要	参加人数
洋ラン展関連 講演会	5月31日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
朝顔講習会(2)	6月6日(土)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
大菊作り講習会(1)	6月6日(土)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
小菊盆栽講習会(3)	6月6日(土)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
東洋蘭講演相談会	6月7日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
アートボトル講習会③	6月11日(木)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
バラ栽培講習会	6月13日(土)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
ウチョウラン展 関連講習会	6月14日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
朝顔講習会③	7月4日(土)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
富貴蘭展 関連講習会	7月5日(日)	富貴蘭についての講習会 講師:趣味の富貴蘭会京都会員 当日受付13:00~、13:30~15:00	27
大菊作り講習会(2)	7月5日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
小菊盆栽講習会(4)	7月5日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
アートボトル講習会④	7月9日(木)	山野草アートボトル作りの実習 経験者の部:10:00~12:00、初心者の部:13:30~15:30 材料費3,000円	8
第9回 観蓮会 ~運を楽しむ3日間~	7月10日(金) ~7月12日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
夏休みクラフトアート教室	7月22日(水) ~7月23日(木)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
夏の子ども写生大会・写生コンクール(小・中学生向け)	7月26日(日)	前日雨天予想のため中止	-
食虫植物展 関連講演会	7月26日(日)	「ハエトリソウについて」講師:大谷博行氏 当日受付13:00~、13:30~15:00	30
フラワーデザイン体験教室	7月29日(水)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
たねちから講習会 (夏休み子供向け)	7月31日(金)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
季節の植物観察会アサガオ	8月1日(土)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
帰化植物展関連観察会	8月9日(日)	「帰化植物を観察しよう」帰化植物についての説明及び生育地での観察 講師:京都府生物教育会 西村 元氏 13:30~15:00 研修室及び屋外	15
アートボトル講習会⑤	8月13日(木)	山野草アートボトル作りの実習 経験者の部:10:00~12:00、初心者の部:13:30~15:30 材料費3,000円	11
バラ剪定講習会	8月22日(土)	演題「バラの夏剪定の方法と目的」 講師:日本ばら会京都部会員 当日受付12:30~、13:00~15:00 参加費200円	23
シカから芦生の森林生態系を守る ~ABC project公開成果報告会 (芦生シンポジウム)	8月23日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
大菊作り講習会(3)	9月6日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
小菊盆栽講習会(5)	9月6日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
アートボトル講習会⑥	9月10日(木)	山野草アートボトル作りの実習 講師:山野草アートボトル同好会 経験者の部:10:00~12:00、初心者の部:13:30~15:30 材料費3,000円	6
植物画展 関連講習会	9月12日(土)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
東洋蘭講演相談会	9月13日(日)	寒蘭、春蘭など東洋蘭全般の栽培を中心とした講習会 講師:東洋蘭洛風会会員 当日受付13:00~、13:30~15:00	20
バラ栽培講習会	9月19日(土)	演題「秋バラの手入れ」 講師:日本ばら会京都部会員 当日受付12:30~、13:00~15:00 参加費200円	27
水草展 関連講演会	9月27日(日)	「水草展を楽しもう!!」 講師:植物園職員 当日受付13:00~、13:30~15:00	50
秋の京都盆栽展 関連講習会	10月4日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
彫刻展 関連講演会	10月4日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
アートボトル講習会⑦	10月8日(木)	山野草アートボトル作りの実習 講師:山野草アートボトル同好会 経験者の部:10:00~12:00、初心者の部:13:30~15:30 材料費3,000円	11
インテリア・プランツ展 寄せ植え講習会	10月10日(土)、 10月11日(日)	(1回目)10:30~ (2回目)13:30~ 要材料費(1,000円) 往復はがき応募、締切10/2(土)	26
秋の山野草とした展 関連講習会	10月11日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	26
バラ展 関連講習会	10月18日(日)	バラの栽培についての講習会 講師:日本ばら会会員 当日受付13:00~、13:30~15:00	60
東洋蘭講演相談会	10月18日(日)	寒蘭、春蘭など東洋蘭全般の栽培を中心とした講習会 講師:東洋蘭洛風会会員 当日受付13:00~、13:30~15:00	20
きのこ展 関連観察会	10月25日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
きのこ展 関連講演会	10月25日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
苔・こけ・コケ展 関連講習会・講演会	11月6日(金) ~11月8日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
苔・こけ・コケ展 関連観察会	11月6日(金) ~11月8日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-

行事名	会期	概要	参加人数
寄せ植え講習会	11月7日(土)	季節の植物を使った寄せ植えづくり(実習) 13:30~15:00(事前申し込みによる予約制締切~10/30、要材料費3,000円)	35
アートボトル講習会⑧	11月12日(木)	山野草アートボトル作りの実習 講師:山野草アートボトル同好会 経験者の部:10:00~12:00、初心者部:13:30~15:30 材料費3,000円	8
寒蘭展 関連講習会	11月15日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
ハンギングバスケット講習会②	11月29日(日)	季節の植物を使ったハンギングバスケットづくり(実習) 13:30~15:00(事前申し込みによる予約制締切~11/22、要材料費3,000円)	40
フラワーデザイン展 関連講習会	12月4日(金) ~12月6日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
バラ栽培講習会	12月6日(日)	演題「バラ作りのスタート」講師:日本ばら会京都部会会員 当日受付12:30~、13:00~15:00 参加費200円	57
ポインセチア展 関連講習会	12月6日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
アートボトル講習会⑨	12月10日(木)	山野草アートボトル作りの実習 講師:山野草アートボトル同好会 経験者の部:10:00~12:00、初心者部:13:30~15:30 材料費3,000円	16
たねちから 講習会③	12月12日(土)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
野外彫刻展 ワークショップ	12月13日(日)	小学生対象の植物を使ったアートワークづくり、講師:京都彫刻家協会会員 13:30~15:30 事前申し込み(京都府文化芸術振興課)	50
松竹梅の寄せ植え講習会	12月13日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
東洋蘭講演相談会	12月13日(日)	寒蘭、春蘭など東洋蘭全般の栽培を中心とした講習会 講師:東洋蘭洛風会会員 当日受付13:00~、13:30~15:00	20
バラ剪定講習会①	1月9日(土)	ツルバラの剪定について・講演と実演 講師:松尾正晃氏(まつおえんげい) 当日受付13:00~、13:30~15:00	7
バラ剪定講習会②	1月23日(土)	四季咲きバラの剪定について(講演と実演)講師:松尾正晃氏(まつおえんげい) 当日受付13:00~、13:30~15:00	12
洋ラン展関連 講演会	1月31日(日)	洋ラン関係講演会「ランの花にみられる送粉について」講師:戸部博園長 当日受付13:00~、13:30~15:00	15
若手作家による希少植物作品展 ~あしもとにゆらくvol.2~ 関連パネルディスカッション	2月6日(土)	若い世代へこれからの植物(希少種)への関わり方、植物園の理解、植物や自然への 関心を高める インターネット同時配信あり 14:00~15:00 パネラー:瀬戸口浩彰氏、長澤淳一氏、佐野裕一氏 事前web申込制	12 web配信 22
洋ラン展関連 講習会	2月7日(日)	「ミニカトレヤ他の栽培」講師:五島正氏 (1回目)10:30~(2回目)13:30~ 要材料費(1,500円) 往復はがき応募、締切1/20(水)	21
東洋蘭講演相談会	2月14日(日)	寒蘭、春蘭など東洋蘭全般の栽培を中心とした講習会 講師:東洋蘭洛風会会員 当日受付13:00~、13:30~15:00	20
京都植物同好会 総会・研究発表会	2月14日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
バラ剪定講習会	2月21日(日)	四季咲きバラの剪定について(講演と実演) 講師:日本ばら会京都部会会員、 当日受付13:00~、13:30~15:00 参加費200円	36
早春の園芸市 関連講習会①	2月27日(土)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
早春の園芸市 関連講習会②	2月28日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
京都花蓮研究会講演会	3月6日(土)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
春蘭展 関連講習会	3月14日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
山野草展 関連講習会	3月21日(日)	「植物園職員による植物生態園ガイド」 講師:樹木係職員 当日受付13:00~、13:30~15:00	15
絶滅危惧植物講演会	3月27日(土)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
つばき展 関連講演会	3月28日(日)	「植物とあぶらの深くておいしい関係」 講師:株式会社山中油店取締役永劫部長 浅原典美子氏 当日受付13:00~、13:30~15:00	50

(ウ)園内ガイド

行事名	会期	概要	参加人数
第16回 桜散歩	4月17日(金) ~4月19日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
第16回 ばら園散歩	5月16日(土) ~5月17日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
紅葉散策ツアー	11月21日(土)、 11月22日(日)	午前10時から10時45分、午後1時から1時45分 ※両日とも午前、午後2時開催 モミジやフウ、イチヨウなどの紅葉を職員が案内	101
園内ツバキ探訪	3月27日(土)	「園内の椿案内」案内:樹木係 当日受付 13:00~13:45	62
園長、副園長、技術課長の 園内ガイド	毎月第4日曜日 (日程変更の場合あり)	園長、副園長・技術課長とおきの見所ご案内 受付:当日午後2時から植物園会館前 【令和2年4月から、園長:偶数月、副園長・技術課長:奇数月】 ※4月~6月は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	333
名誉園長さんとときまぐれ散歩	気まぐれ開催	名誉園長とおきの見所ご案内 受付:当日午後2時から植物園会館前 ※令和2年度は実施せず	-
土曜ミニミニガイド	毎週土曜日	技術課職員とそぞろ歩き 見頃の植物を解説 受付:当日午後1時から植物園会館前 ※4月~6月は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	885

(工)その他の事項

行事名	会期	概要
第15回 桜ライトアップ	3月28日(土) ～4月12日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
4園館ワークショップ 「野生動物学のすすめ」	4月12日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
春の開園時間延長	4月13日(月) ～5月17日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
第7回 春の植物園フェスタ(大芝生地:花苗園芸市(園芸フェスタ))	5月2日(土) ～5月3日(日祝)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
// くすのき並木:野菜地域産品市(植物園マルシェ)	5月2日(土) ～5月3日(日祝)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
// くすのき並木:大芝生地:手づくり品市(クラフトマルシェin京都市立植物園)	5月4日(月祝) ～5月6日(水休)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
私の好きな木(1)	5月10日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
母の日無料開園	5月10日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
初夏のものづくりガーデン&ミュージックガーデン	5月17日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
自然観察会「親子生きもの探偵団」(京都市と共催)	6月20日(土)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
Sing for Peace コーラスフェスティバル	5月22日(金)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
夏の早朝開園	7月10日(金) ～7月12日(日) 7月23日(木祝) ～8月16日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
私の好きな木(2)	7月11日(土)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
第16回 園内植物採集会	7月19日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
まゆまろラジオ体操	7月24日(金) ～7月26日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
夏の開園時間延長	8月15日(土) ～8月23日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
第59回 植物学習相談会	8月15日(土)	児童生徒が作成した標本など、植物に関する作品の仕上げ方等の指導及び相談 午前の部9:00～正午、午後の部13:00～16:00 当日受付
4園館 いきもの広場	10月3日(土)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
クラフトマルシェ	10月3日(土) ～10月4日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
森と小川の教室	10月10日(土)	自然の教育力を活用しながら、自らの感性や能力を磨き「生きる力」を養う 森と小川の教室実行委員会主催
4園館 キッズアートキャンパス	11月3日(火・祝)	植物園(植物)、動物園(動物)、水族館(水生生物)、青少年科学センター(昆虫)が一室に集い、いきものをテーマにワークショップなど体験ブースを出展
第2回 世界の紅葉ライトアップ	11月14日(土) ～11月29日(日)	イロハモミジやメタセコイアなど世界の樹々の彩りを光で演出。日没～20:00(入園は19:30まで)
観覧温室夜間無料開室	11月14日(土) ～11月29日(日)	17:00～20:00(入室は19:30まで)
秋のものづくりガーデン&ミュージックガーデン	11月15日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
秋は植物園 植物園フェスタ	11月21日(土) ～11月22日(日)	紅葉散策ツアー、自然の素材を使った体験会、植物園マルシェなど(私の好きな木も展示等同時開催) 会場:大芝生地、くすのき並木
私の好きな木:特別編	11月22日(日)	「秋は植物園」フェスタ内で、パネル展示など 共催:京都市中学校理科研究会、京都理科研究会など
観覧温室夜間開室 (ポインセチア展)	11月29日(金) ～12月1日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
私の好きな木(4)	1月17日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
4園館連携 サイエンスフェスティバル	1月31日(日)	於)青少年科学センター
私の好きな木(5)	2月7日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
京都マラソン2021	2月21日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
私の好きな木(6)(最終回)	3月7日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
春の開園時間延長	3月27日(土) ～5月16日(日)	18時半まで開園:入園18時まで 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4月23日以降は中止
ものづくりStreet	3月28日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

イ 四季の彩り事業

○第15回 桜ライトアップ

- 1 日 時 令和2年3月28日(土)～4月12日(日) 日没～21:00
 - 2 場 所 園内桜林内
- ※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

○春の植物園フェスタ

- 1 日 時 令和2年5月2日(土)～5月6日(水・休)
 - 2 場 所 園内大芝生地ほか
- ※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

○第2回 世界の紅葉ライトアップ

- 1 日 時 令和2年11月14日(土)～11月29日(日) 日没～20:00
- 2 場 所 園内「なからぎの森」周辺など
- 3 内 容 ・イロハモミジや海外原産のメタセコイヤ、イチョウなど
世界の木々の彩りをライトアップ
・観覧温室の夜間無料開室
- 4 入園者数 約 17,000名

○秋の植物園フェスタ

- 1 日 時 令和2年11月21日(土)・22日(日)
- 2 場 所 園内大芝生地ほか
- 3 内 容 紅葉散策ツアー、植物園マルシェほか
- 4 入園者数 約 10,400名

○早春の草花展

- 1 日 時 令和3年2月13日(土)～3月14日(日)
- 2 場 所 大芝生地特設会場
- 3 内 容 ～春を感じる風の中で～をテーマに
色鮮やかな早春の草花等延べ100品種、10,000株を展示
- 4 入園者数 約 39,700名

ウ 教育・学習活動等

○私の好きな木

四季を通じて参加者がお気に入りの一本の木を観察し、学ぶ活動

期 日	内 容	参加者数
第1回活動 5月10日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
第2回活動 7月11日(日)		
第3回活動 11月22日(日)	特別編 「秋は植物園」フェスタ内で パネル展示など	50名
第4回活動 1月17日(日)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
第5回活動 2月7日(日)		
第6回活動 3月7日(日)		

○森と小川の教室

自然の教育力を活用した“教え込まない指導方法”を基本とし、異年齢集団での子ども社会を取り戻し、「生きる力」を各自に養ってもらうことを目的とした取り組みに協力

期 日	内 容	参加者数
10月10日(土)	集団行動、園内見学、園内植物のスケッチ 作品発表、整理ノート作り	8名

○博物館実習・体験学習

項 目	期 間	対 象	実習等の概要
博物館実習	9月28日～10月2日 (5日間)	京都先端科学大学 バイオ環境学部 2名 京都府立大学 生命環境学部 1名	展示会準備 植物関係資料・ 図書整理 植物管理業務 等
チャレンジ体験	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		

エ 植物園芸相談

(ア) 相談日時

区 分	日 時	場 所	相談方法
定期相談	毎週日曜日 午前9時～12時 午後1時～ 4時	植物園会館	来園、電話、手紙
随時相談	随 時		来園、電話、手紙
学習相談会	8月15日 午前9時～12時 午後1時～ 4時	植物園会館	来園

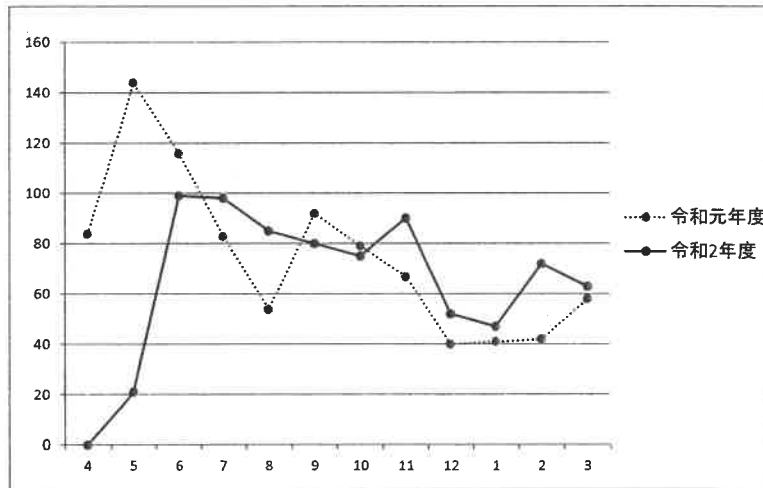
(イ) 定期相談

令和元年度							令和2年度						
月	回数	相談件数	相談者数			相談内容	相談件数	回数	相談件数	相談者数			相談内容
			総数	電話	来園					総数	電話	来園	
4	5	84	72	30	42	樹木 97 花木 214 果樹 70 草花 124 球根 50 宿根草・有用植物 54 山草・野草 78 温室植物 14 ラン 29 サボテン・多肉植物 17 観葉植物 23 病害虫防除 35 土壌肥料 19 野菜 29 その他 47	4	0	0	0	0	0	樹木 85 花木 184 果樹 72 草花 119 球根 38 宿根草・有用植物 26 山草・野草 43 温室植物 2 ラン 37 サボテン・多肉植物 16 観葉植物 23 病害虫防除 11 土壌肥料 14 野菜 61 その他 51
5	4	144	114	52	62		5	1	21	20	18	2	
6	4	116	104	55	49		6	4	99	103	102	1	
7	5	83	74	41	33		7	5	98	79	50	29	
8	4	54	49	24	25		8	4	85	76	53	23	
9	5	92	92	45	47		9	5	80	66	53	13	
10	4	79	75	32	43		10	4	75	64	33	31	
11	4	67	65	33	32		11	4	90	82	55	27	
12	4	40	39	23	16		12	4	52	52	36	16	
1	4	41	35	12	23		1	4	47	40	32	8	
2	4	42	38	23	15		2	4	72	64	45	19	
3	5	58	57	55	2		3	5	63	61	49	12	
計	52	900	814	425	389		計	900	782	707	526	181	

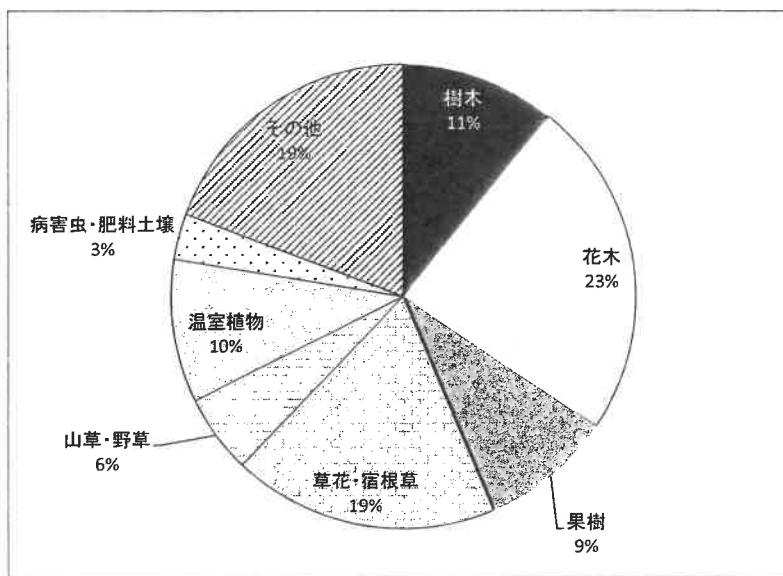
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月の園芸相談は電話相談のみ実施

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月～5月24日までの園芸相談は中止

月別の相談件数の推移



令和2年度 相談ジャンル別件数割合



(ウ) 植物学習相談会

児童、生徒が夏休みの宿題として制作した植物に関する作品の指導と相談に応じるため、植物学習相談会を実施

京都府生物教育会、京都府立鳥羽高等学校講師 西村元氏
京都府立植物園 戸部博 園長
中井貞 樹木係長
津田桂子 樹木係主査
小川久雄 樹木係副主査

8月15日(土) 7人

オ 種子交換

昭和36年の再開園以来実施している事業で、国内外の植物園及び研究機関と保有する種子を相互に交換している。

種子交換件数

種子交換リスト 32カ国 108園にメールで送信
分譲 5カ国 6園に40種、63袋の種子を分譲
導入 1カ国 1園からのべ1種の種子を導入

カ 広報活動

(ア) ニュースリリース

各種展示会や関連講演会・講習会を中心に、珍しい植物の開花や見頃を迎えた植物などの情報を報道機関向けに発信し、新聞・テレビ・ラジオ等で紹介された。

〈主なニュースリリース〉

リリース日	内容
2020.6.25	“キノコの女王” キヌガサタケ(衣笠茸)が見頃です!
2020.6.25	ナツツバキ(シャラノキ)が見頃を迎えています
2020.6.26	ハンゲショウが見頃を迎えています
2020.7.1	疫病退散!! 祇園祭ゆかりの“厄除けの植物” ヒオウギ(檜扇)が咲きました!
2020.7.2	大輪の「ハス」が見頃を迎えています
2020.7.2	水中の食虫植物「ムジナモ」の花が咲きました!
2020.7.2	伊達政宗公の御手植えと伝わる木斛(クローン)が植物園にやってきました!
2020.7.6	幻のユリ「ウケユリ」が咲きました
2020.7.16	ユリがいっせいに見頃を迎えています!
2020.10.1	フォトジェニックな植物、イボクサの花を撮影してみませんか
2020.11.13	2021 オリジナルカレンダー刊行
2020.11.26	冬の風物詩「ソテツのこも巻き」を行います
2020.12.8	コロナに負けるな! チューリップ球根の植え付けを行います
2021.1.29	節分を前に「セツブンソウ」が開花しました

他、各種展示会の開催情報

(イ) 各種媒体による広報

各種媒体への掲載依頼を受け、ロケ取材対応や情報・画像提供を行い、テレビ、ラジオ、雑誌等やwebにより幅広い層に植物園をPRした。

〈主なテレビ〉

放送局名	「番組名」 ～コーナー名～ (広報内容)	放映日
NHK 総合テレビ	「有吉のお金発見 突撃!カネオくん」(ドラクラ・ギガス)	2020.9.5
サンテレビ	「手づくり花づくりプラス」(ばら園ほか)	2020.11.7
毎日放送テレビ	「よんちゃんTV」(桜スポット、へりでの生中継)	2021.3.29
テレビ大阪	「やさしいニュース」(紅葉スペシャル)	2020.11.20
	「おとな旅 あるき旅」(桜)	2021.3.27
KBS京都テレビ	「きらきん!」(桜の中継)	2020.4.10
	(ハンギングバスケット、洋ラン展他)	2021.1.29
	「Nami乗りジョニーの京街 Diary」	2020.11.12

〈主なラジオ等〉

放送局等名	「番組名」 ～コーナー名～ (広報内容)	放送日
NHKラジオ第一放送 AM666	「関西ラジオワイド」(菊花展)	2020.10.20
	(ポインセチア展)	2020.12.3
	(春蘭展)	2021.3.12
KBS京都ラジオ AM1143	「笑福亭昇瓶のほっかほっかラジオ」(食虫植物展)	2020.7.28
	(早春の草花展)	2021.2.22
	「ま〜ぶる!女と男と木村のシャバダバ元氣!!」(ラジオカー、今の植物の見頃)	2020.10.1
	(ばら園ほか)	2020.10.22
	(ラジオカー、園内各所)	2021.1.21
	(ラジオカー、園内各所の旬の植物)	2021.3.25
京都三条ラジオカフェ FM79.7	京都府広報番組「Meet the kyoto」(秋の植物園)	2020.10.5 ~10.11
	(〃)	2020.11.9 ~11.15
	(春の植物園)	2021.3.22 ~3.28
京都府広報番組「京都トークRUN」(桜)		2021.3.23
FM京都 (αステーション) FM89.4	「MORNING SPRITE」(桜、樹木医)	2020.4.3
	「Bistro Sunshine」(食について)	2020.11.30

〈主な書籍・雑誌等〉

発行元	書籍・雑誌等の名称
JR西日本	「京阪神の近くで、いい旅。 電車&ウォーク」
株式会社京阪エージェンシー	京阪電車おでかけ情報誌「K PRESS」、 「京阪沿線情報」
阪急電鉄株式会社	「桜MAP2021」
NHK出版	「趣味の園芸」(月刊)しゅみえんインフォメーション

発行元	書籍・雑誌等の名称
タキイ種苗株式会社	「園芸新知識 はなとやさい」 みんなの街の憩いの場植物園情報
みやこ子ども土曜塾事務局 (京都市子ども若者はぐくみ局)	「GoGo土曜塾」ワクワクスケジュール(隔月)(催し・募集情報)
ワイヤーママ京都版編集室	「WIRE(ワイヤーママ京都版)」EVENT INFORMATION(隔月)(イベント情報)
京都市青少年科学センター	「科学センターだより」〈季刊〉
日本園芸協会	「プランツ&ガーデン」(季刊)植物園イベント情報
株式会社KADOKAWA	「関西ウォーカー」「東京ウォーカー」・「東海ウォーカー」
株式会社成美堂出版	『歩く地図 京都散歩 2021』散歩コース(基本情報)
びあ株式会社	各種ムック本
朝日新聞出版	各種ガイドブック
株式会社JTBパブリッシング	各種ガイドブック
株式会社淡交社	各種ムック本
株式会社昭文社	各種ガイドブック
株式会社光文社	「HERS」この時季こそ京都の穴場・隠れ家へ(世界の紅葉ライトアップ)
公益財団法人日本さくらの会	機関誌「さくら2020」別選さくら名所の地(桜)
京都府観光連盟	「パンフレット」
京都市観光協会	「京都観光ナビNavi 冊子」
京都市交通局	「おふたいむ」
	地下鉄・バス一日券でめぐる京都観光〈冊子〉

<主なweb>

次の運営者webサイトにて、イベント情報等掲載

株式会社KADOKAWA、京都市観光協会、京都市教育委員会、京都府、京都府観光連盟、株式会社京阪エージェンシー、株式会社京阪神エルマガジン社、JR東海、JR西日本、JTBパブリッシング、阪急電鉄株式会社、阪急阪神ホールディングスグループ、みやこ子ども土曜塾事務局、株式会社リーフ・パブリケーションズ、株式会社リクルートライフスタイル

<その他>

依頼者	内容	期間
京都リビング新聞社	<編集記事>「リビング京都」桜を知り、楽しむ春(桜)	2021.3.14
JR鉄道情報システム株式会社 (JR西日本)	「桜情報」(桜)(期間中毎日提供)	2020.2.26~4.30 2021.2.26~4.30
	「紅葉色づき情報」(紅葉)(期間中毎日提供)	2020.10.26~12.19
	「梅情報」(梅)(期間中毎日提供)	2020.1.28~3.18
株式会社京阪エージェンシー	「京阪沿線 桜だより」(桜)(期間中週2回提供)	2020.3.20~4月上旬 2021.3.13~4.30
	「京阪沿線 花だより」(バラ)(花しょうぶ)(あじさい) (期間中週2回提供)	2020.5.10~7月上旬
	「京阪沿線 梅だより」(梅)(期間中週2回提供)	2021.1.24~3.13
京都府観光連盟	「桜の開花だより」(桜の開花)(期間中週2回提供)	2020.3.20~4.19 2021.3.19~4.30
	「紅葉だより」(紅葉の色づき)(期間中週2回提供)	2020.10.25~12.10
京都市観光協会	「開花情報」(桜)(期間中週2回提供)	2020.3.20~4.17 2021.3.19~4.30
株式会社ウェザーニュース	ウェザーニュース「さくらCh.」(桜)(期間中週1回提供)	2021.3.16~4.30

(ウ) SNSを活用した広報

四季折々のみごろの植物や展示会などのイベント情報を、京都府が発信する京都府広報課 Twitter、京都府広報監まゆまる Facebook を活用し、写真を添えて毎週金曜日に情報発信した。

また、令和2年9月10日からは、植物園独自に Twitter 公式アカウントを取得し、見て欲しい情報を毎日発信した。

(エ) ポスター・チラシの制作・配布

展示会等のテーマに沿ってポスター・チラシを制作した。特に四季の彩り事業については、京都府内の施設や主要駅、京都総合観光案内所(京なび)にポスターの掲示、チラシの配架を依頼した。初夏の植物園については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため作成を中止した。



秋の植物園 紅葉ライトアップ



早春の草花展



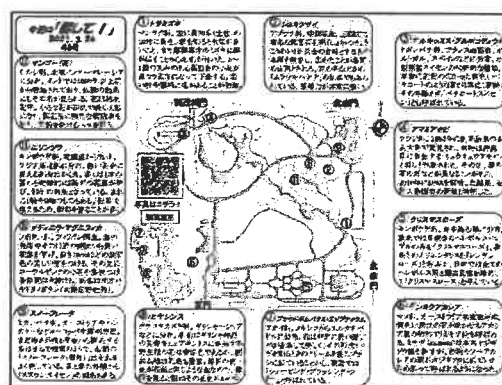
春の植物園 桜ライトアップ
(昨年度未配布だったため
同デザインを採用)

(オ) ほっこりウィークリー・今週の「探して！」等の情報発信

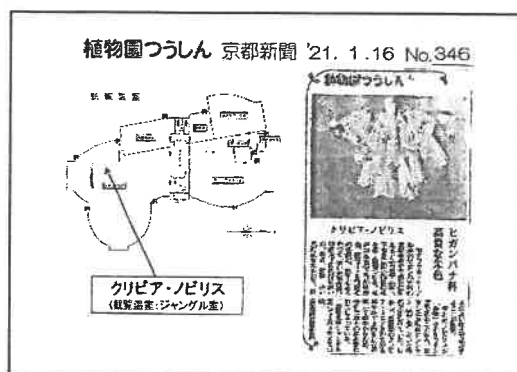
おすすめイベントや見頃の植物を園内MAPに示し、植物の写真を添えて紹介する「ほっこりウィークリー・今週の「探して！」」を毎週金曜日に発行し、来園者に配布するとともに、植物園HPにおいて情報発信した。

エリアごとのオススメの植物情報を、植物園HP「週刊オススメ植物情報」に写真とともに毎週金曜日に発信した。

京都新聞の「植物園つうしん」コーナーに、見頃の植物の写真を添えて毎週土曜日に連載し、園内にMAPを添えて掲示した。



←ほっこりウィークリー 今週の「探して！」 1



← 植物園つうしん

キ ボランティア活動状況

延活動 人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	5	81	229	405	384	416	446	498	454	423	418	469	4,228
業 務 内 容	園内パトロール、土曜ミニミニガイド等受付、展示会の監視、標本整理												
会員数	令和3年4月1日現在 130名												

ク 「きのこ文庫」(平安の郷 こども文庫“きのこの家”)の運営

きのこを型取った野外設置型書架を未来くん広場に設置している。自然科学系図書や童話等の一般図書を備え、子供が本に親しむと同時に植物等に興味を持つ場として、さらには親子ふれ合いの場にもなっている。

なお、昭和60年4月の設置以来、京都平安ライオンズクラブからの寄付により運用されている。
図書収蔵数 約3,200冊

ケ 京都府立植物園ファンクラブの運営

開園90周年を記念して、平成26年4月に、四季を通じて府立植物園を身近に感じ支えていただけるよう、その魅力を愉しみ、発見していただける参加型の事業を行うためファンクラブを設立(年会費2000円、有効期間1年間)

○登録会員数 99人(令和3年4月1日現在)

○主なファンクラブ会員向け事業

- ・ハスの観察会
- ・バオバブ夜間特別観賞会
- ・植物のタネ飛ばし
- ・球根の植栽体験会
- ・イベント先行見学会(紅葉ライトアップ、早春の草花展)
- ・大森文庫特別公開講座

※「早朝桜の観察会」「フクシア展の解説と見学」「球根堀上げ体験会」

「桜ライトアップと温室の夜間開室」は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

7 令和2年度歳入歳出決算（過去5年間）及び令和3年度当初予算

事項	(単位：千円)						
	年度	平成28年度	29年度	30年度	31年度 令和元年度	2年度	3年度 (当初予算)
使用料及び手数料		127,864	126,891	114,889	120,714	91,975	139,228
（植物園入園料）		60,094	59,718	52,960	56,502	36,631	61,213
（温室観覧料）		13,140	13,073	11,960	11,543	7,530	17,811
（駐車場使用料）		30,017	28,203	24,749	26,867	23,704	35,840
（庁舎等使用料）		21,152	22,348	21,886	22,609	21,099	22,006
（光熱水費使用料）		3,461	3,549	3,334	3,193	3,011	2,358
財産収入		0	0	188	0	0	0
（財産貸付収入）		0	0	188	0	0	0
寄付金		240	230	216	194	196	200
（総務管理費寄付金）		240	230	216	194	196	200
雑収入		166	169	303	157	130	150
（雑入）		166	169	303	157	130	150
合計		128,270	127,290	115,597	121,065	92,301	139,578

歳出

(単位：千円・%)

事 項	年 度	平成28年度		29年度		30年度		31年度 令和元年度		2年度		3年度 (当初予算)	
		決算額	全体比	決算額	全体比	決算額	全体比	決算額	全体比	決算額	全体比	当初予算額	全体比
職員給与費		304,167	54.1	299,714	47.3	302,201	50.0	301,727	58.6	276,469	58.6	299,544	60.78
一般活動費		215,904	38.4	215,777	34.1	244,937	40.6	205,205	39.9	188,048	39.9	187,100	38.0
植物園魅力創出事業費		32,254	5.7	73,000	11.5	—	—	—	—	—	—	—	—
四季の彩り事業費		10,000	1.8	10,000	1.6	9,000	1.5	7,650	1.5	6,885	1.5	6,197	1.3
単独災害庁舎復旧作業費		—	—	35,000	5.5	48,000	7.9	—	—	—	—	—	—
合 計		562,325	100.0	633,491	100.0	604,138	100.0	514,582	100.0	471,402	100.0	492,841	100.0

8 運営協力

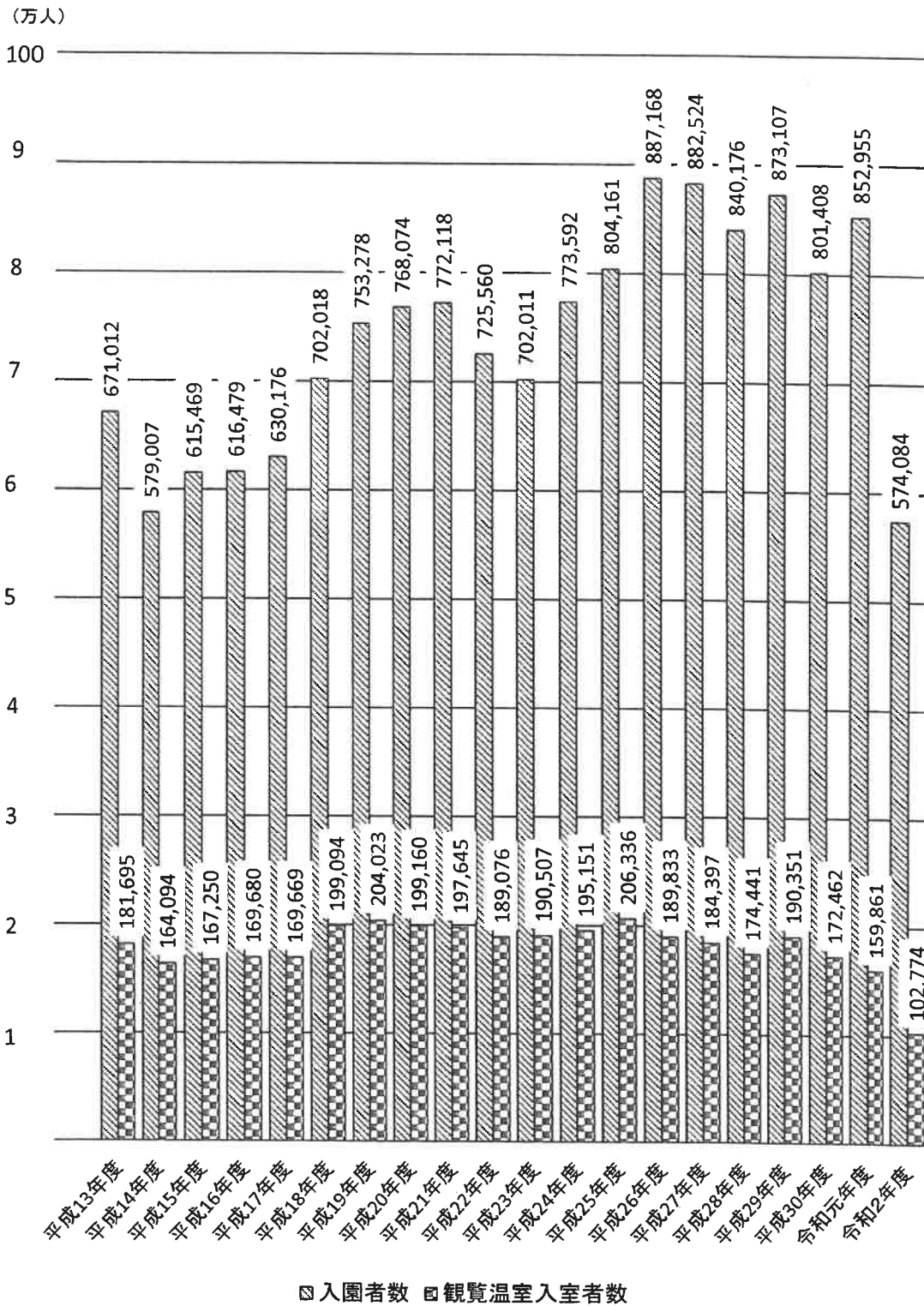
協力団体

(令和3年3月末現在)

団体名	代表者	所在地
一般財団法人 植物園協力会	松谷 茂	京都市左京区
一般財団法人 京都園芸倶楽部	藤目 幸擴	京都市中京区
京都朝顔半日会	奥村 隆一	京都市左京区
京都工ビネ会	田中 章	京都市下京区
京都菊花連合会	柴田 道男	京都市南区
京都みやび皐月会	斎藤 稔	京都市上京区
京都山草会	森元 陽三	京都市上京区
京都シャボテンクラブ	竹内 宏光	大津市
京都盆栽会	河合 稔夫	京都市中京区
日本ばら会・京都部会	伊藤 信吾	京都市伏見区
京都ばら会	西田 裕一	京都市左京区
東洋蘭洛風会	市丸 修三	京都市西京区
日本フラワーデザイナー協会 京都府支部	三上 比路子	京都市上京区
京都羽蝶蘭会	福谷 義一	京都市右京区
日本ツツジ・シャクナゲ協会 京都支部	江指 正倫	城陽市
日本長生蘭協会	森 三千穂	亀岡市
関西菌類談話会	田中千尋	宇治市
近畿小町蘭会	野上 雄司	大津市
京都洋ラン研究会	池田 昭生	(事務局) 五島園芸 京都市左京区
京都花蓮研究会	植村 則大	(事務局) 京都市伏見区
日本ハンギングバスケット協会 京都支部	尾崎 まこと	亀岡市
山野草アートボトル同好会	北川 幸子	京都市右京区
手工芸同好会 花のある暮らし	澤村 直美	京都市伏見区
岡山コケの会 関西支部	道盛 正樹	西宮市
趣味の富貴蘭会 京都	奥村 義広	京都市伏見区
京都カンアオイ研究会	寺峰 孜	高知市

9 資料

(1) 年度別入園者数、観覧温室入室者数の推移



(2) 入園料の変遷

年月日	入園料の別 項目別	入 園 料						温室観覧料			駐車場使用料			
		大人	小人	団体割引		回数券		大人	小人	バス	四輪・三輪(バス除く)	二輪	自転車	
				高校生	小・中学生	大人用	小人用							
T13. 1. 1	有料開園	5銭 (14歳以上)	2銭 (7~14歳未満)	4銭 (20人以上の団体)	1銭		20回券 50回券	80銭 1円80銭						
S20. 9	米駐留軍の家族住宅地として全面接収される													
S32. 12	米駐留軍から全面返還される													
休 園														
S36. 4. 25	有料再開園	50円 (15歳以上)	25円 (6~15歳未満)	40円 (30人以上の団体)	20円 (30人以上の団体)	50円 25円 ① 校外学習の学校団体の教師の引率によるもの ② 温室を含む	500円 (11回券)	250円 (11回券)	50円	25円	200円	100円	20円	10円
S51. 4. 1	60歳以上無料入園制度の実施													
S51. 9. 1	入園料等改正	100円 (15歳以上)	50円 (6~15歳未満)	80円 (30人以上の団体)	40円 (30人以上の団体)	100円 50円 ① 校外学習の学校団体の教師の引率によるもの ② 温室を含む	1,000円 (11回券)	500円 (11回券)	100円	50円	1,000円	400円	100円	30円
S53. 2. 1	身体障害者等の福祉入園制度実施													
S59. 4. 1	入園料等改正	150円 (15歳以上)	80円 (6~15歳未満)	120円 (30人以上の団体)	60円 (30人以上の団体)		1,500円 (11回券)	800円 (11回券)			1,500円	500円	無料	無料

年月日	入 入 料											共通入園券		回数券(11枚綴り)		定期券		団体割引		学校団体割引		観 覧 料		セット券		駐車場使用料	
	一般	高校生	中学生以下	一般	高校生	中学生以下	一般	高校生	中学生以下	一般	高校生	中学生以下	一般	高校生	中学生以下	一般	高校生	中学生以下	一般	高校生	中学生以下	一般	高校生	バス	四輪		
H4.4.1	150	150	80	120	120	60	80	40	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	
H5.4.1	200			160																							
H6.3.24																											
H7.4.1																											
H8.5.1																											
H9.4.28																											
H17.4.1																											
H19.7.28																											
H22.5.18																											
H25.4.1																											
H29.1.5																											
H30.1.5																											
H30.2.7																											
R1.10.1																											
R1.11.1																											

(3) 園内四季の花

月別	温室	草花	花木
1	カトレヤ、カランテ、ソランドラ、テンドロビウム、カエンカズラ	ハボタン、パンジー、ヒオラ	ナンテン(果)、ウメモドキ(果)、アオキ(果)、ピラカンサ(果)、コトネアスター(果)、ロウバイ、ヤツテ
2	パフィオペディウム、ツンベルギア、ファレノプシス、リュエリア、テンドロビウム、ホーモンティア、クンジラン、カクチョウラン、シンビティウム	ハレホルス・オリエルトリス、ニホンスイセン、スノードロップ、サルキッスス・カンタブリクス	シナマンサク、ウメ、サザンカ、ツバキ
3	シンビティウム、テンドロビウム、ブーゲンビリア、ブルンフェルシア、球根ベゴニア、ハナナ(果)	クロッカス、ヒヤシンス、スイセン、ラッパスイセン、パンジー、プリムラ・ポリアンサ、プリムラ・マラコイデス、ハナナス、アリッサム、フクジュソウ、ユキワリイチゲ、ハレホルス・オリエルトリス、ミスミソウ	ユキヤナギ、トサミズキ、サンシュユ、オウバイ、モモ、マンサク、ツバキ、ウメ、アセビ、ミツマタ、アブラチャン、カンザクラ、レンギョウ、ダンコウバイ
4	パッシフロラ、ハイビスカス、アナナス類、ヘリコニア、マルバヒスカス、シェードバイン、ブーゲンビリア	スノーフレック、ムスカリ、アリッサム、クリサンセマム・ムルチコーレ、キンセンカ、ハナビシソウ、アネモネ、チュールリップ、ヒヤシンス、アイストランドポピー、パンジー、テニシ、プリムラ類、クリンソウ、シャガ、カタクリ、イカリソウ、サクランボ、シバザクラ	サクラ、モモ、ヤマブキ、ツツジ、ボク、アンズ、ハナミズキ、シジミバナ、スモモ、オオムラサキ、コブシ、レンギョウ、ドウダンツツジ、トサミズキ、モクレン、ヒカゲツツジ、シヤクナゲ、ウグイスカグラ、ボタン、モッコウバラ、アーモンド
5	アンズリウム、ヤコウボク、アナナス類、パッシフロラ、コーヒーノキ、フクシア、アリストロキア、熱帯スイレン、ブーゲンビリア、インパチエンス、ヒマラヤの青いゲシ	ジャーマンアイリス、シラン、クレマチス、ハナシロウブ、エキウム・ウィルドブレッチェイ、キンギョソウ、ヒナゲシ、アリウムキガンチウム、シヤクヤク、ネモフィラ、ダイアンサス類、ヤグルマギク、ベゴニア、セイヨウオオタマキ	バラ、フジ、ハンカチノキ、コデマリ、ボタン、セイヨウシヤクナゲ、ツツジ、ウツギ、オオデマリ、ヤマボウシ、トキワマンサク、ハクウンボク、ハクサンボク、カンボク、エゴノキ、センダン、オオカナメモチ、ナツグミ
6	ハイビスカス、メディニラ、スパティフィラム、アナナス類、熱帯スイレン、ヘリコニア、アリストロキア、レンブ(果)、インパチエンス、月下美人	ハメロカリス、カンパニユラ、ガーベラ、アガパンサス、ダリア、フウリンソウ、ハナシロウブ、シキタリス、アザミ、ハルシャギク、カーネーション、ベチュエム、ホタルアキノ、ラベリ、アガパンサス、トリトマ、アサザ、ハス、オニサルビア、ガウラ、スイレン、タチアオイ、ギボウシ、カンナ	アジサイ、シモツケ、タイサンボク、サツキ、ザクロ、クちなシ、ナツツバキ、スモークツリー、キササゲ、ハコネウツギ、イワガラミ、ニワナナカマド、ボダイシユ、ハクチヨウゲ
7	カラジウム、アナナス類、ヘリコニア、ベニヒモノキ、クロトン、ティファニアキア、アラマンダ、ウツボカズラ、アリストロキア、熱帯スイレン、インパチエンス、シクンシ	キリンギク、クサキヨウチクトウ、カノコリ、キキョウ、アサガオ、ジニア、インパチエンス、カンナ、サルビア、ヒマワリ、ハス、ヒヨウタン、スイレン、タイタンピカス、ギボウシ	クちなシ、キヨウチクトウ、ハナソノツクハネウツギ、ノウゼンカズラ、サルズベリ、アメリカノウゼンカズラ、ネムノキ、ヒメジャラ、ハマボウ、ムクゲ
8	ツンベルギア、インパチエンス、アラマンダ、ベニヒモノキ、ヘリコニア、イクソラ、アリストロキア、ウツボカズラ、バラグアイオニバス	アメリカフヨウ、モミジアオイ、ナツハギ、ヒマワリ、サルビア、マリーゴールド、クレオメ、ヒソカ、センニチコウ、アサガオ、オニバス	サルズベリ、ムクゲ、ノリウツギ、キヨウチクトウ、シダシエンシユ、ホツツシ
9	ハイビスカス、クレオデンドラム、アラマンダ、ツンベルギア、イクソラ、パキスタキス、アナナス類、ヘリコニア	スイフヨウ、ダンゴギク、ハマギク、ステルンベルギア、タマスダシ、ケイトウ、ハゲイトウ、ダリア、マリゴールド、サルビア、アゲラタム、リンドウ、サルビア・レウカンダ、フヨウ	ハギ、ムベ(果)、アケビ(果)
10	コエビソウ、ヘリコニア、ツンベルギア、エスキナンツス、パシダ、アリストロキア	ハマギク、ダリア、コルチカム、ツワブキ、コスモス、サルビア、コリウス、キク、シュウメイギク、ホトトギス	マユミ(果)、ムラサキシキブ(果)、カマズミ(果)、カキ(果)、バラ、キンモクセイ、ギンモクセイ、ナウシログミ、ヒイラギ
11	コクラクチョウカ、カトレヤ、ツンベルギア、ムクナ、アリストロキア	キク、レオノティス、ウインターコスモス、コダチダリア	サザンカ、ウメモドキ(果)、ナナカマド(果)、ピラカンサ(果)、カエデ(紅葉)、タラヨウ(果)、ナナミノキ
12	ポインセチア、ファレノプシス、オンジジウム、カトレヤ、カラント、ソランドラ	ハボタン	カンツバキ、センリョウ(果)、マンリョウ(果)、ナンテン(果)、アオキ(果)、カンボタン

(4) 都道府県の花

北海道	ハマナス	滋賀県	石楠花
青森県	リンゴの花	京都府	しだれ桜・嵯峨ぎく・なでしこ
岩手県	キリ	大阪府	さくらそう・うめ
宮城県	ミヤギノハギ	兵庫県	ノジギク
秋田県	フキのとう	奈良県	奈良八重桜
山形県	べにばな	和歌山県	ウメ
福島県	ネモトシャクナゲ	鳥取県	二十世紀梨の花
茨城県	バラ	島根県	ポタン
栃木県	やしおつつじ	岡山県	ももの花
群馬県	レンゲツツジ	広島県	モミジ
埼玉県	サクラソウ	山口県	夏みかんの花
千葉県	なのはな	徳島県	すだちの花
東京都	ソメイヨシノ	香川県	オリーブ
神奈川県	ヤマユリ	愛媛県	みかんの花
新潟県	チューリップ	高知県	ヤマモモ
富山県	チューリップ	福岡県	うめ
石川県	クロユリ	佐賀県	クスの花
福井県	スイセン	長崎県	雲仙ツツジ
山梨県	ふじざくら	熊本県	リンドウ
長野県	りんどう	大分県	豊後梅
岐阜県	れんげ	宮崎県	はまゆう
静岡県	つつじ	鹿児島県	ミヤマキリシマ
愛知県	カキツバタ	沖縄県	デイゴ
三重県	ハナショウブ		

(5) 都道府県の木

北海道	エソマツ	滋賀県	紅葉
青森県	ヒバ	京都府	北山杉
岩手県	ナンブアカマツ	大阪府	いちよう
宮城県	ケヤキ	兵庫県	クスノキ
秋田県	秋田スギ	奈良県	すぎ
山形県	さくらんぼ	和歌山県	ウバメガシ
福島県	ケヤキ	鳥取県	ダイセンキャラボク
茨城県	ウメ	島根県	クロマツ
栃木県	トチノキ	岡山県	あかまつ
群馬県	クロマツ	広島県	モミジ
埼玉県	ケヤキ	山口県	アカマツ
千葉県	マキ	徳島県	やまもも
東京都	イチヨウ	香川県	オリーブ
神奈川県	イチヨウ	愛媛県	まつ
新潟県	ユキツバキ	高知県	ヤナセスギ
富山県	立山杉	福岡県	つつじ
石川県	あて	佐賀県	クス
福井県	マツ	長崎県	ヒノキ・ツバキ
山梨県	かえで	熊本県	クスノキ
長野県	しらかば	大分県	豊後梅
岐阜県	イチイ	宮崎県	フェニックス
静岡県	もくせい	鹿児島県	クスノキ・カイコウス
愛知県	ハナノキ	沖縄県	リュウキュウマツ
三重県	神宮スギ		

※植物名等の表記は、全国知事会のホームページに準ずる。

(6) 府内市町村の木・花

	木	花
京都市	シダレヤナギ・タカオカエデ・カツラ	サトダクラ・ツツジ・ツバキ
福知山市	ケヤキ・カシ	キキョウ・サツキ
舞鶴市	ケヤキ	ツツジ
綾部市	松	梅
宇治市	イロハモミジ	ヤマブキ
宮津市	くろまつ	みつばつつじ
亀岡市	桜	つつじ
城陽市	梅	花しょうぶ
向日市	モウソウチク・サクラ	ヒマワリ・ツツジ
長岡京市	もみじ	霧島つつじ
八幡市	くすのき	さつき
京田辺市	南京はげ	ひらどつつじ
京丹後市	ブナ	トウテイラン
南丹市	ぶな	さくら
木津川市	桜	コスモス
大山崎町	赤松	さくら
久御山町	サザンカ	サツキ
井手町	ひのき	やまぶき
宇治田原町	茶の木	さざんか
笠置町	ミヤマツツジ	ソメイヨシノ
和束町	杉	お茶の花
精華町	かし	ばら
南山城村	山桜	さつき
京丹波町	イチョウ	つつじ
伊根町	クロマツ	キク
与謝野町	椿	ひまわり

(7) 歴代園長

- ・初代園長 郡 場 寛 (大正10年 から 昭和 4年 10月 まで)
- ・第二代園長 菊 池 秋 雄 (昭和 4年 10月 19日 から 昭和 24年 9月 16日 まで)
- ・第三代園長 松 尾 賢一郎 (昭和 34年 12月 22日 から 昭和 37年 8月 15日 まで)
- ・第四代園長 麓 次 郎 (昭和 37年 8月 16日 から 昭和 53年 7月 27日 まで)
- ・第五代園長 木 幡 欣 一 (昭和 53年 7月 28日 から 平成 5年 3月 31日 まで)
- ・第六代園長 高 林 成 年 (平成 5年 4月 1日 から 平成 12年 3月 31日 まで)
- ・第七代園長 兼 松 信 夫 (平成 12年 4月 1日 から 平成 16年 4月 30日 まで)
- ・第八代園長 中 村 幸 男 (平成 16年 5月 1日 から 平成 18年 5月 31日 まで)
- ・第九代園長 松 谷 茂 (平成 18年 6月 1日 から 平成 22年 5月 25日 まで)
- ・第十代園長 金 子 明 雄 (平成 22年 5月 26日 から 平成 25年 3月 31日 まで)
- ・第十一代園長 長 澤 淳 一 (平成 25年 4月 1日 から 平成 30年 3月 31日 まで)
- ・第十二代園長 戸 部 博 (平成 30年 4月 1日 から 令和 3年 4月 1日 現在)

10 植物に関する記録

植物の寄贈（2020）

植物園では多くの方からたくさんの植物の寄贈を受けました。

寄贈していただいた皆様のご厚意に感謝するとともに、栽培管理に努め

展示に活かしていきたいと考えております。

園長 戸部 博

寄贈者	寄贈日	寄贈植物名	個数	形態	由来	導入番号
武田薬品工業(株)京都薬用植物園 (日植協種苗交換)	4月1日	ミシマサイコ	500	種子		20-0060
藤高 治生氏	8月7日	クリンソウ	8	株		20-0073
尾崎 章氏	6月4日	Hesperaloe campanulata	2	株		20-0074
尾崎 章氏	6月4日	Hesperaloe funifera	2	株		20-0075
尾崎 章氏	6月4日	Hesperaloe parviflora	2	株		20-0076
尾崎 章氏	6月4日	Amorphophallus atroviridis	2	株		20-0077
尾崎 章氏	6月4日	Amorphophallus parvulus	2	株		20-0078
尾崎 章氏	6月4日	Begonia handelii	1	種子		20-0079
尾崎 章氏	8月6日	Stachytarpheta mutabilis	2	株		20-0080
尾崎 章氏	8月6日	Stachytarpheta	2	株		20-0081
尾崎 章氏	8月6日	Dracaena goldieana	1	株		20-0082
尾崎 章氏	8月6日	Philodendron	1	株		20-0083
尾崎 章氏	8月6日	Philodendron	1	株		20-0084
尾崎 章氏	8月6日	Begonia baviensis	1	株		20-0085
尾崎 章氏	8月6日	Sabal uresana	1	株		20-0086
尾崎 章氏	8月6日	Pilea hitchcockii	1	株		20-0087
尾崎 章氏	8月6日	Pipturus albidus	1	株		20-0088
尾崎 章氏	8月6日	Orthosiphon aristatus	1	株		20-0089
尾崎 章氏	8月6日	Caladium	1	株		20-0090
尾崎 章氏	8月6日	Syncolostemon obermeyerae	1	株		20-0091
京都府希少野生生物保全推進員 藤井 肇氏	8月28日	オオカメノキ	若干	種子	野生	20-0092
室ノ園 三郎氏	8月30日	フクロモチ	1	株		20-0093
沖縄美ら島財団 佐藤 裕之氏	10月3日	Dracaena cantleyi	3	株		20-0095
沖縄美ら島財団 佐藤 裕之氏	10月3日	Argostemma solaniflorum	1	株	野生	20-0096
沖縄美ら島財団 佐藤 裕之氏	10月3日	Ecbolium viride	1	株		20-0097
沖縄美ら島財団 佐藤 裕之氏	10月3日	Rhynchosyilis retusa Alba	1	株		20-0098
京都山草会 上田 三重子氏	9月17日	ムクゲ‘祇園守’	1	株		20-0100
京都山草会 上田 三重子氏	9月17日	キミノセンリョウ	5	苗		20-0101
京都山草会 上田 三重子氏	9月17日	ハマナデシコ	8	苗		20-0102
京都山草会 上田 三重子氏	9月17日	ダルマガク	1	株		20-0103
京都山草会 上田 三重子氏	9月17日	ツルボ	5	株		20-0104
京都山草会 上田 三重子氏	9月17日	フジハタザオ	8	株		20-0105
山本 亀太郎氏	10月30日	Saccharum sinense	1	苗		20-0106
京都園芸倶楽部 森田 美保子氏	11月12日	トリアシショウマ	2	株		20-0107
京都園芸倶楽部 森田 美保子氏	11月12日	ササユリ	100	種子		20-0108
京都園芸倶楽部 森田 美保子氏	11月11日	サワグルミ	1	株		20-0109
京都園芸倶楽部 森田 美保子氏	11月11日	ナナカマド	1	株		20-0110
京都園芸倶楽部 森田 美保子氏	12月6日	アケボノソウ	若干	種子	野生	20-0138
京都園芸倶楽部 森田 美保子氏	12月6日	オオマトソヨイグサ	若干	種子	野生	20-0139
京都府希少野生生物保全推進員 藤井 肇氏	12月9日	ジャコウソウ	100	種子	野生	20-0140
京都府希少野生生物保全推進員 藤井 肇氏	12月9日	アケボノソウ	100	種子	野生	20-0141
京都府希少野生生物保全推進員 藤井 肇氏	12月9日	イヌショウマ	100	種子	野生	20-0142
京都府希少野生生物保全推進員 藤井 肇氏	12月9日	マユミ	100	種子	野生	20-0143
京都府希少野生生物保全推進員 藤井 肇氏	12月9日	ニシキギ	100	種子	野生	20-0144
中山 長秀氏	12月28日	Primulina halongensis	1	株	野生	20-0147
中山 長秀氏	12月28日	Didymostigma eberhardi	4	穂木	野生	20-0148
中山 長秀氏	12月28日	Amorphophallus sp.vietnam	1	株	野生	20-0149
京都園芸倶楽部 森田 美保子氏	11月18日	シモツケンソウ	8	株	野生	20-0150
山本 亀太郎氏	12月1日	Calystegia soldanella	1	株	野生	20-0151
山本 亀太郎氏	12月1日	Rosa rugosa	1	株	野生	20-0152
山本 亀太郎氏	12月1日	Rosa luciae	1	株	野生	20-0153
山本 亀太郎氏	12月1日	Lysimachia mauritiana	1	株	野生	20-0154

寄贈者	寄贈日	寄贈植物名	個数	形態	由来	導入番号
山本 亀太郎氏	12月1日	Hemerocallis citrina var. vespertina	1	株	野生	20-0155
山本 亀太郎氏	12月1日	Hemerocallis citrina var. Nelumbo lutea 'Virginia-hasu'	1	株	野生	20-0155
山本 亀太郎氏	12月1日	[Wiid Collect : Back Bay National Wildlife Refuge (Large Community), Virginia, USA] Nelumbo lutea 'Lac des Allemands'	3	実	野生	20-0158
山本 亀太郎氏	12月1日	[Wiid Collect : Lac des Allemands, Louisiana, USA] Nelumbo lutea 'Lake Boeuf'	3	実	野生	20-0159
山本 亀太郎氏	12月1日	[Wiid Collect : Lake Boeuf, Louisiana, USA] Nelumbo lutea 'Blakeley River'	3	実	野生	20-0160
山本 亀太郎氏	12月1日	[Wiid Collect : Blakeley River, Alabama, USA] Nelumbo lutea 'Ducker Bay, Meaher State Park'	3	実	野生	20-0162
山本 亀太郎氏	12月1日	[Wiid Collect : Ducker Bay, Meaher State Park, Alabama, USA] Nelumbo lutea 'Lake Martin'	3	実	野生	20-0163
山本 亀太郎氏	12月10日	[Wiid Collect : Lake Martin, Louisiana, USA] Nelumbo nucifera 'Heilongjiang Honglian'	3	実	野生	20-0343
山本 亀太郎氏	12月10日	Nelumbo nucifera 'Heilongjiang Honglian'	3	実	野生	20-0344
山本 亀太郎氏	12月10日	Nelumbo nucifera	3	実	野生	20-0345
山本 亀太郎氏	12月10日	Nelumbo nucifera	3	実	野生	20-0346
山本 亀太郎氏	12月10日	Nelumbo nucifera 'Darwin'	3	株	野生	20-0347
山本 亀太郎氏	12月10日	Nelumbo nucifera 'Mamukala'	3	株	野生	20-0348
山本 亀太郎氏	12月10日	Nelumbo lutea 'Isyu-o-ren'	3	実	野生	20-0349
山本 亀太郎氏	12月10日	Nelumbo nucifera	3	実	野生	20-0350
田口 貞子氏	3月5日	Hippeastrum reticulatum	1	鉢		20-0044
佐野 藤右衛門氏	1月20日	Cerasus 彬姫桜	1	株		20-0003
Arbert Dumas Arboretum "Les Ruines"	2月5日	prunus brigantina	4	種子		20-0004
Arbert Dumas Arboretum "Les Ruines"	2月5日	prunus brigantina	11	種子		20-0005
工藤 直美氏	3月1日	Citrus maxima cv. Banpeiyu	1	本		20-0029
奈良カエデの里「ひらら」 矢野 正義氏	3月15日	Acer × oliverianum Hirara	4	株		20-0045
伏見区海宝寺 荒木正啓大住職	7月2日	Ternstroemia gymnanthera	1	株		20-0069
新エルサレム教会 下村明夫氏	11月29日	Ceratonia siliqua	1	株		20-0132
新エルサレム教会 下村明夫氏	11月29日	Ceratonia siliqua	5	株		20-0133
新エルサレム教会 下村明夫氏	11月29日	Nerium oleander	1	株		20-0134
新エルサレム教会 下村明夫氏	11月29日	Cyperus tenuispica	2	株		20-0135
新エルサレム教会 下村明夫氏	11月29日	Acacia tortilis subsp. raddiana	1	株		20-0136
新エルサレム教会 下村明夫氏	11月29日	Brachychiton sp	1	株		20-0137

京都府立植物園観覧温室の 一部リニューアルと今後の展望について

Partial renewal of conservatory at Kyoto Botanical Gardens and future prospects

岡垣 勝*・平塚 健一・山方 政樹・磯見 吉勝・儀間 沙紀
Masaru OKAGAKI*, Kenichi HIRATSUKA,
Masaki YAMAGATA, Yoshikatsu ISOMI, Saki GIMA

京都府立植物園
Kyoto Botanical Gardens

要約：平成25（2013）年に観覧温室の一部を改築し、夜咲き植物の開花を昼間に観賞できる「昼夜逆転室」と温帯地域の高山性植物を中心に展示する「高山植物室」を増設し、リニューアルオープンした。現在の三代目観覧温室の建設後28年が経過し、京都らしい外観と川遊性は、多くの来園者から好評を得ている反面、設備のメンテナンスや植物の維持管理においては、いくつかの課題が見えてきた。

キーワード：観覧温室、京都府立植物園、高山植物室、昼夜逆転室

SUMMARY: In 2013, a part of conservatory was reconstructed and reopened, with the addition of "Night Garden" where visitors can see the blooming of nighttime-flowering plants in the daytime and "Alpine Garden" that mainly displays alpine plants in temperate regions. It has been 28 years since the construction of the current third generation conservatory, which has a Kyoto-like appearance and comfortable migratory paths and has been well received by many visitors, but we now have some problems in equipment maintenance and plant management.

Key words: alpine garden, conservatory, Kyoto Botanical Gardens, night garden

京都府立植物園は、大正13（1924）年、教育を基本に大自然に接して英気を養い園内遊覧のうちに草木の名称、用途、食用・熱帯・有毒・特用（染料、工芸）・薬用及び園芸植物の知識と天然の摂理を普及させ、我が国植物学界各分野の学術研究に資することを目的に「大典記念京都植物園」として開園した。当時の主な施設の一つが初代の「温室」である（図1）。しかし、第二次世界大戦終盤には、ガラスが光り空襲の標的となるとの理由から、温室は取り壊しとなった。さらに、昭和21（1946）年から12年間、植物園は米軍の家族用地として連合軍に接収され、多くの樹木が伐採された。

昭和36（1961）年、植物を育成栽培し広く府民のいこいの場として、植物の観賞を通じて一般の教養に資するとともに、植物学の研究に寄与するための施設としてその姿を一新し、再開園を果たした。再建工事の目玉の一つが、二代目の「大温室」の建設であった（図2）。

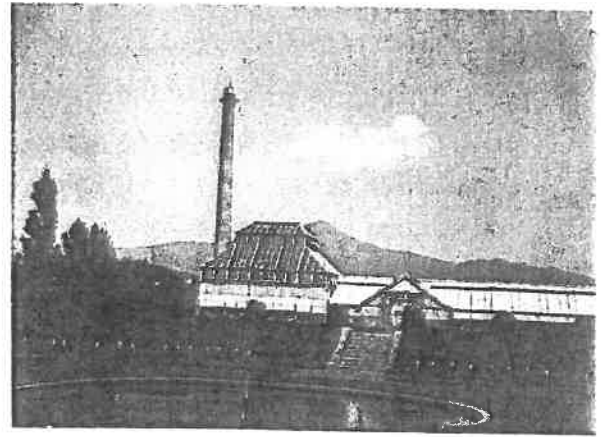


図1 初代の温室

その後、約30年が経過し、老朽化した大温室を同じ場所
で新築に建て替える工事を行い、平成4（1992）年に現在の三代目「観覧温室」（延床面積：4,694.25m²）がオープンし（図3）、今年で28年目を迎えている。池に浮かんだ金

* 〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町
Hangi-cho, Shimogamo, Sakyo-ku, Kyoto 606-0823
m-okagaki14@pref.kyoto.lg.jp

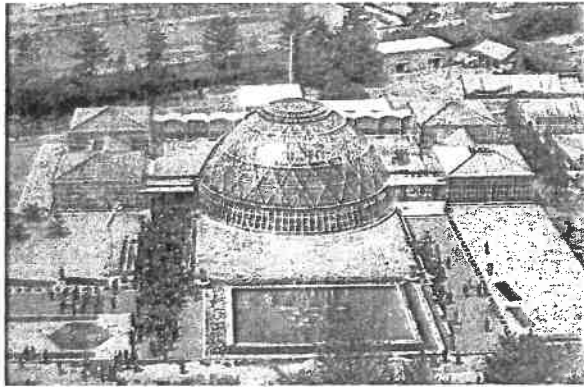


図2 二代目の大温室

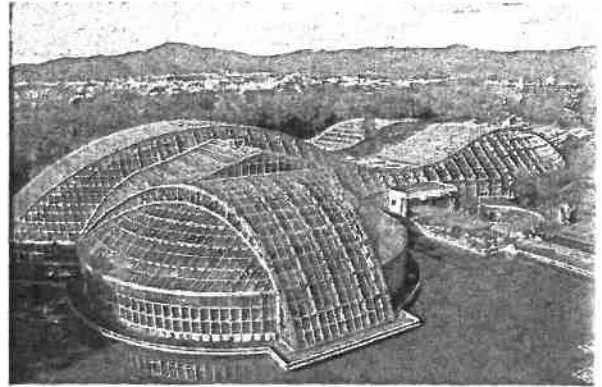


図3 現在の観覧温室（三代目）

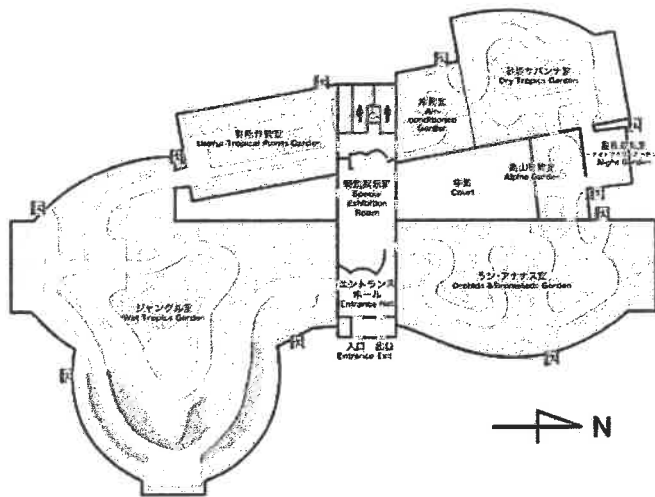


図4 観覧温室の案内図

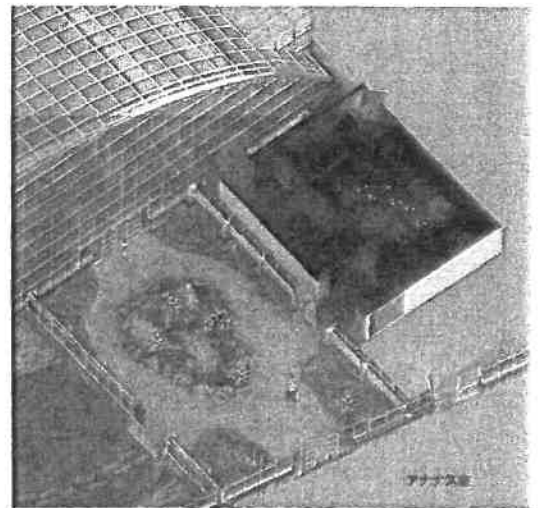


図5 昼夜逆転室と高山植物室（鳥瞰図）

閑寺のイメージと北山連峰のシルエットを取り入れた京都らしい外観のデザイン、そして内部は順路に従って次々と景観が変わる回遊式が特徴である（図4）。

平成25（2013）年、観覧温室の一部を改築して、夜の植物の生態や高山植物などが観賞できる2つのエリアを新設し（図5）、リニューアルオープンした。以下、この一部改築に至った経緯と概要、さらにこれまでに見えてきた課題と今後の展望等について紹介する。

観覧温室の一部改築工事に至る経緯について

京都府立植物園は、大正13（1924）年に日本で最初の公立総合植物園として開園して以来、植物を保存・栽培・展示し、広く府民の憩いの場とするとともに、植物の観賞を通じて教育・学習・植物学の研究に寄与するための施設「生きた植物の博物館」を基本理念として公開・運営してきた。

平成19（2007）年、年間入園者数100万人を目標に、高い技術力などの「ほんまもん」の強みを発揮しつつ、「お

もてなし」の精神を大切に府民の思いに応える楽しさいっぱいの植物園を目指し、備えるべきハード、ソフトの考え方を整理した「府立植物園の未来図」夢プラン（以下、「夢プラン」）を策定した。

この夢プランを踏まえ、平成21（2009）年には、府民の貴重な財産である植物園の真の価値を発信し、さらなる魅力の創出と来園者の快適性・利便性を向上させるため、府立植物園「魅力あふれる施設」整備計画（以下、「整備計画」）を策定した。

なお、夢プラン及び整備計画ともに、策定に当たっては外部有識者の方々を委員として招き、検討し策定された。

整備計画では、「日本一おもしろい、心やすらぐ植物園」を基本コンセプトと位置づけ、最終的に39の「施設・方策等」がまとめられた。そのうち、観覧温室に関連するものは以下の3方策であった。

- ・水中塔（サカナの目）

観覧温室内の池にスロープ状に設置。アクリルシーリング



図6 ブラインドコントロール室のパス図

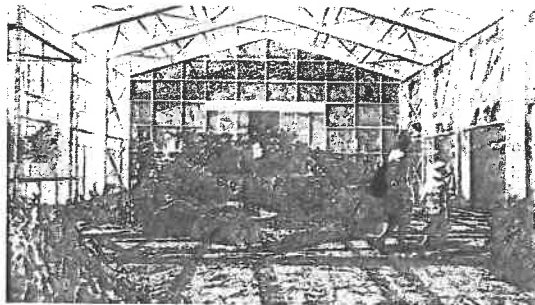


図7 高山植物栽培室のパス図



図8 オープニング・セレモニーの様子

越しにマングローブの根などをサカナの目線で楽しめるスポット

・ブラインドコントロール室

夜に咲く植物を昼間に見せるなどの多様な展示機能を備えた部屋の整備（照明、空調）（図6）

・高山植物栽培室

多様な植物を通して自然や環境、環境と人との共生を考えるきっかけを与えることのできるよう、京都の深山に自生する植物や熱帯地域等の高山地帯の自生植物など、多様な環境に自生する植物を保管・栽培・展示（図7）

このうちブラインドコントロール室が「昼夜逆転室（ナイトフラワーガーデン）」として、また、高山植物栽培室が「高山植物室」として観覧温室を一部改築して増設され、両施

設ともに平成25（2013）年8月3日にリニューアルオープンを迎えた（図8）。総工事費（委託費、付帯工事費を含む）は、約1億3600万円であった。なお、水中塔（サカナの目）は実現に至っていない。

平成25（2013）年に追加された展示の概要について

1 昼夜逆転室（ナイトフラワーガーデン）

（1）概要

観覧温室北側の空き地であった場所（図9）に新たに増設した（図10～13）。面積は約80m²。最高温度は25℃、最低温度は10℃に設定。順路は、「砂漠サバンナ室」の次のエリアで、新たに設けた「高山植物室」へとつづく。

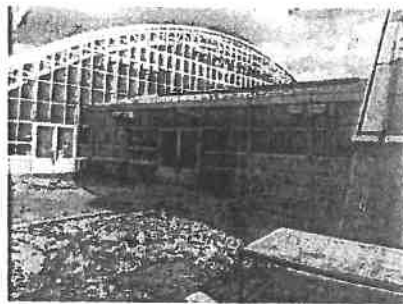


図9 増設前の状態（昼夜逆転室）

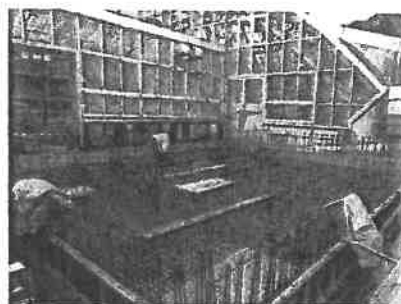


図10 基礎工事（昼夜逆転室）

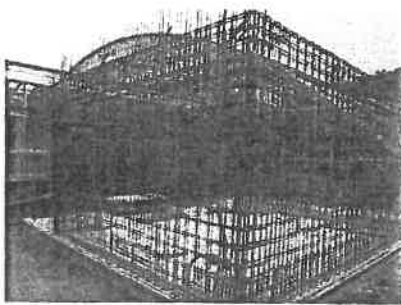


図11 鉄筋工事（昼夜逆転室）

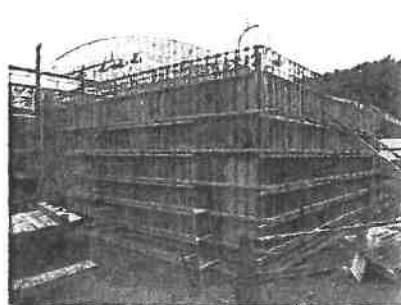


図12 型枠工事（昼夜逆転室）

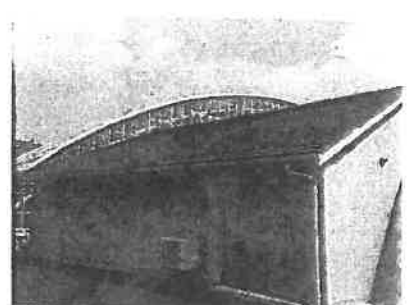


図13 外装完成（昼夜逆転室）

(2) 展示の特徴

昼夜を逆転することにより、夜咲き植物の開花を昼間に観賞できる。自然界のように、薄暗い夜を再現した状態で観賞できる施設としては「世界初」である(図14)。

夕方から夜に咲く植物や開花時に強い香りを放つ植物を鉢植えし、開花数日前から展示室内に持ち込み、昼夜逆転処理を行う。これは、植物の体内に備わった体内時計の錯覚(時差ボケ)を利用するもの。その方法は、夜間に夏季における屋外での曇天と同じ明るさである約1万ルクスの照

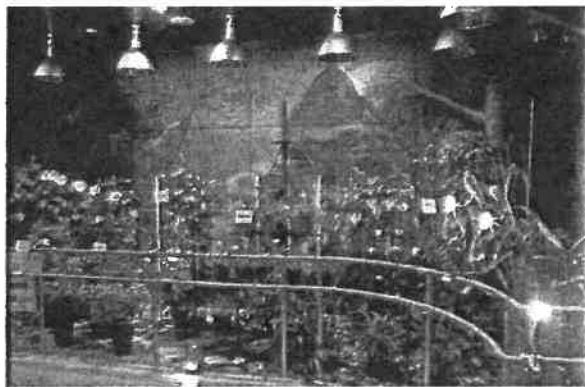


図14 昼夜逆転室の展示風景

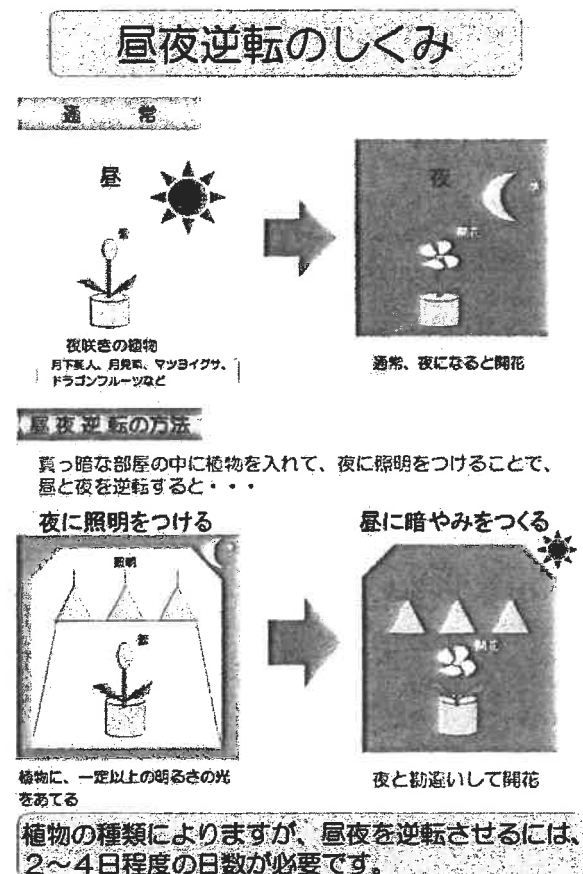


図15 昼夜逆転のしくみ

明をあて、人工的に昼間の状態を作り出し、反対に昼間を暗くすることで夜だと錯覚させる。完全に錯覚を起こさせるには、2～4日程度の時間が必要となる(図15)。当初は通年開室していたが、開花する植物の種類が多く観賞価値の高い期間に限定し、近年では5～11月のみ開室している。ただし、本年においては密閉空間であること等から、新型コロナウイルス感染症予防の一環として閉室を余儀なくされている。

(3) 展示植物

ゲッカビジン *Epiphyllum oxypetalum* (図16)、ドラゴンフルーツ *Hylocereus* ssp.、サガリバナ *Barringtonia racemosa* (図17)、ツキミソウ *Oenothera tetraptera*、マツヨイグサ *Oenothera stricta*、ケチョウセンアサガオ *Datura innoxia*、ヨルガオ *Ipomoea alba*、ヤコウボク *Cestrum nocturnum*、ヘビウリ *Trichosanthes cucumerina* など。

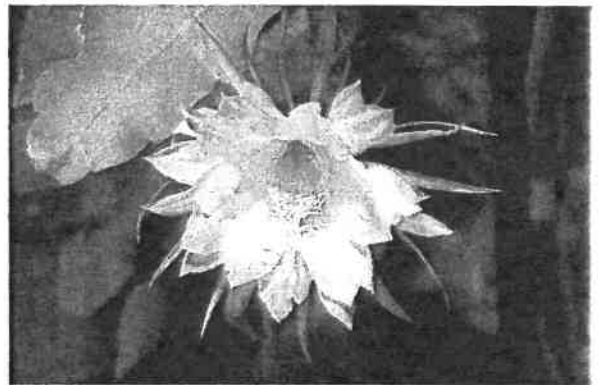


図16 ゲッカビジン *Epiphyllum oxypetalum*

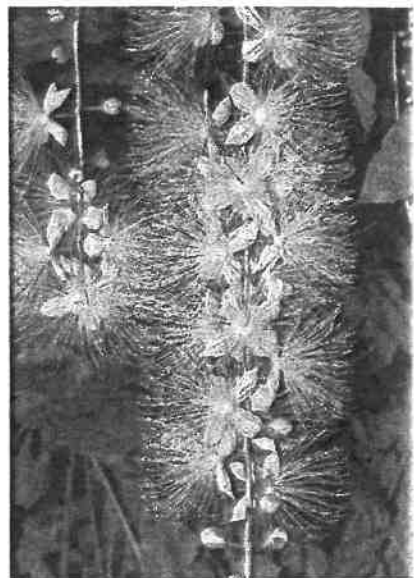


図17 サガリバナ *Barringtonia racemosa*

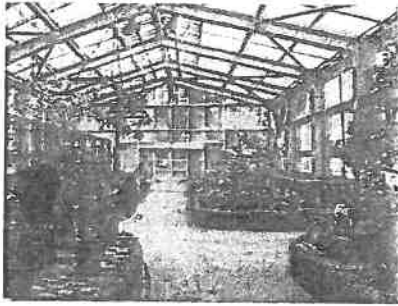


図18 改装前の旧鉢物展示室 (高山植物室)

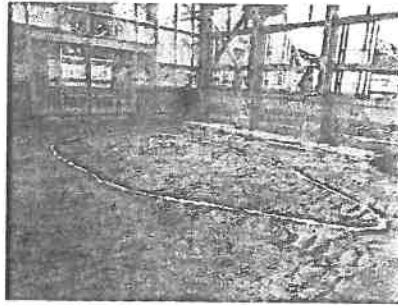


図19 土・地業工事 (高山植物室)

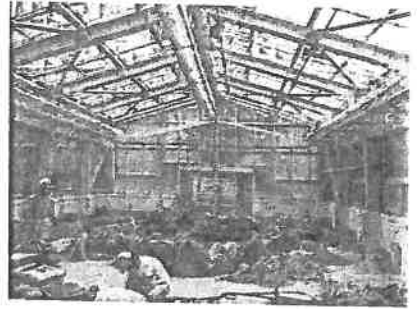


図20 石工事 (高山植物室)

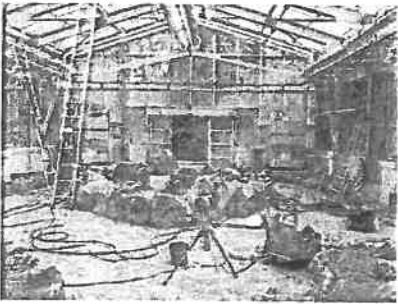


図21 完成間近の状態 (高山植物室)

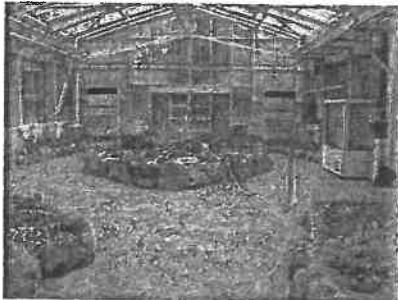


図22 高山植物室の展示風景

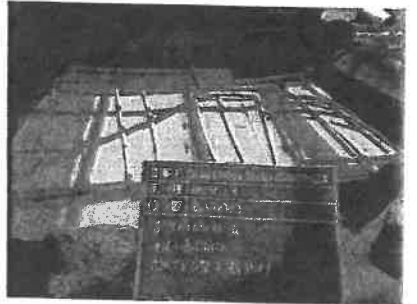


図23 地中冷却のための配管

2 高山植物室

(1) 概要

観覧温室内の旧鉢物展示室 (図18) を改装した (図19～21)。面積は約140m²。最高温度は20℃に設定。順路としては、上述の「昼夜逆転室 (ナイトフラワーガーデン)」の次のエリアで、「ラン・アナナス室」へとつづく。

(2) 展示の特徴

これまで展示できなかった温帯地域の高山性植物を中心に展示している (図22)。そのため、夏場においても冷房及びミスト装置を活用し、室温を20℃以下に保っている。また、一部エリアの地中には配管を埋設しており (図23)、チラー (冷却水循環装置) を活用し、高温期には地中冷却も実施している。冷却水の温度は10℃に設定。外気温が20℃を下回る冬季においては、窓を開放し栽培管理を行っている。

当初は室内を「世界の高山植物」、「日本の高山植物」、「京都の深山や希少な植物」の3つのエリアに大別して植栽していたが、この施設の特徴をさらに活かすため、20℃以下の低温が必要な植物に限定した展示に向けて、昨年より一部エリアの改植を始めている。

(3) 展示植物

ア 世界の高山植物

ヒマラヤの青いケシ *Meconopsis betonicifolia* (図24)、エーデルワイス *Leontopodium nivale*、アルペンローゼ *Rhododendron ferrugineum* など。

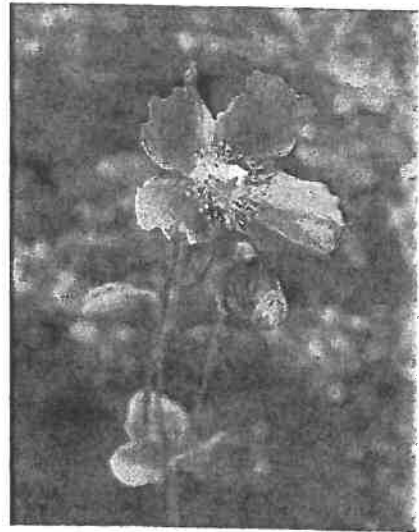


図24 ヒマラヤの青いケシ *Meconopsis betonicifolia*

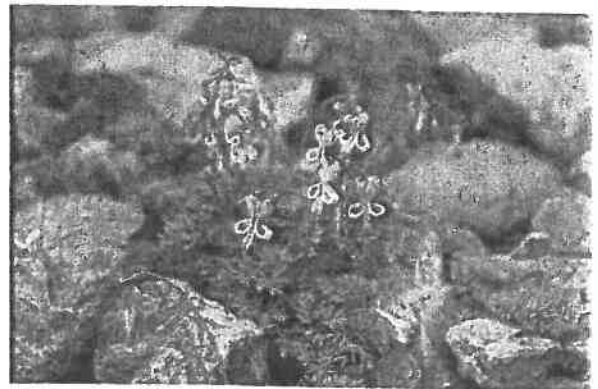


図25 コマクサ *Dicentra peregrina*

イ 日本の高山植物

コマクサ *Dicentra peregrina* (図25)、チングルマ *Geum pentapetalum*、クロユリ *Fritillaria camschatcensis* など。

ウ 京都の深山や希少な植物

イワギリソウ *Oreocharis primuloides*、ベニバナヤマシヤクヤク *Paeonia obovata*、ナツエビネ *Calanthe puberula* var. *reflexa* など。

北山エリア全体として目指す「文化・芸術・学術・スポーツに触れられる魅力的な空間」の創出に向け、施設整備を計画的に進めるため、「北山エリア整備基本計画」を策定することとなった。その一環として、当園の観覧温室の建て替え等についても、具体的な検討がまさにスタートしたところである。

課題と展望について

現在の三代目観覧温室は建設後28年が経過した。当時、建て替えに当たっては、京都らしい外観と回遊性が重視され、独創的なデザインや順路に沿って景観が変化する様は、今でも多くの来園者から好評を得ている。その反面、設備のメンテナンスや植物の維持管理においては、いくつかの課題が見えてきた。

設備のメンテナンスでは、形状が複雑で部材は特注品が多く使用されていることから、ガラスの張り替えや開閉窓の修繕が困難であるとともに、修繕費が高くなる。また、温室内は湿度が高い環境のため、自動扉や冷房設備などの電気系設備の故障が多く、メンテナンス経費を要する。

植物の維持管理においては、同様に形状が複雑なことから、高所作業のためのキャット・ウォークは設置されているが、全ての空間を網羅できず高木の剪定作業が困難なエリアもある。また、エリアによっては骨材による陰の範囲が大きく、植物の生育にとって必ずしも適した環境とは言えない。併せて、回遊式の通路のため、開室中の管理作業は来園者の通行を妨げてしまうケースが多く、温室内で行う大半の作業は早朝や夕方以降の閉室時間帯に限られる。さらに、通路は滑りやすい素材で仕上げられており、来園者の安全を確保するためには、滑りを助長する藻類等を定期的に除去する作業が必要となっている。

2024年には開園100周年という節目を迎えることから、整備計画の実施状況等を検証し、植物を主役とする「生きた植物の博物館」の理念のもと、時代の変遷・社会情勢の変化に伴う多様なニーズを踏まえて、府民目線でさらなる魅力創出に向けハード・ソフト両面を見据えた「京都府立植物園100周年未来構想」が、平成31(2019)年2月に策定された。その中には、建設から30年近くが経過し老朽化が進む観覧温室の建て替えや大規模改修等具体的な手法の検討着手(工法、資金調達手法の検討等)が掲げられている。

本年(令和2(2020)年)度、京都府は当園が立地する

令和3年度 京都府立植物園事業概要

令和3年8月発行

発行 京都府立植物園

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町

電話番号：075-701-0141

ファックス：075-701-0142

U R L：http://www.pref.kyoto.jp/plant/

